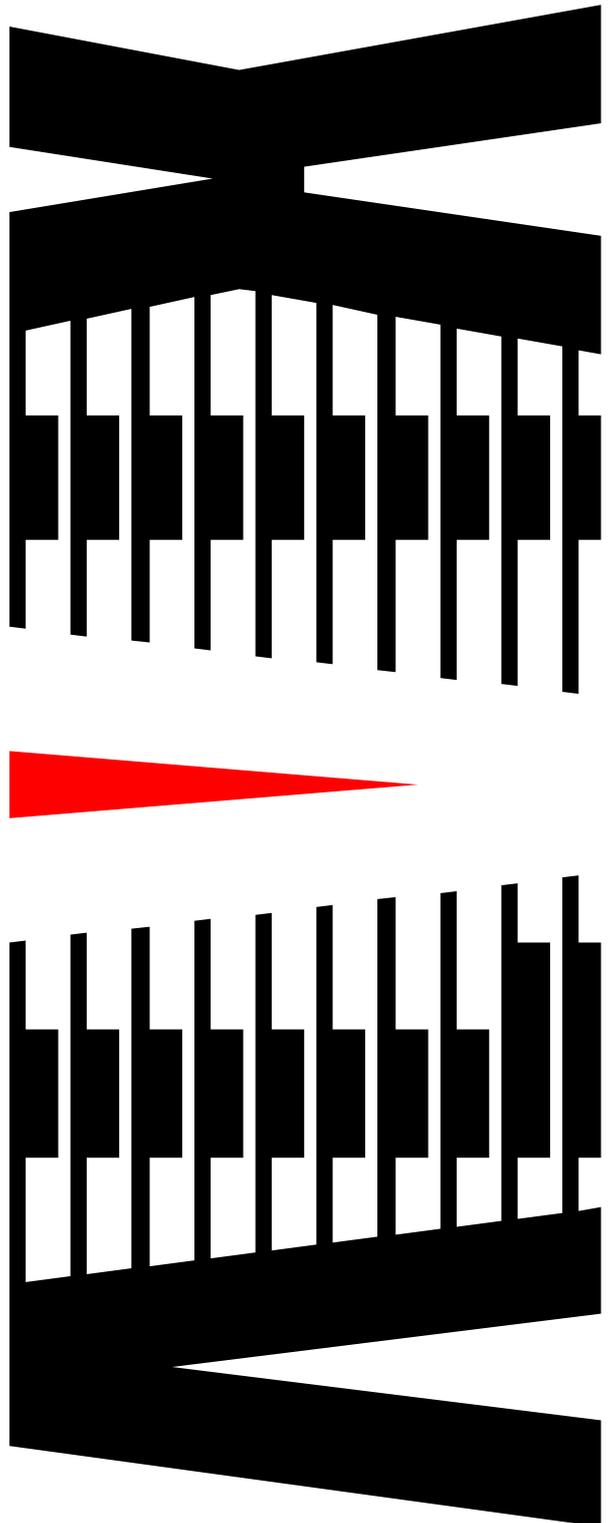


VAD-C 画音監視ソフト

操作説明書

Ver.1.0



目 次

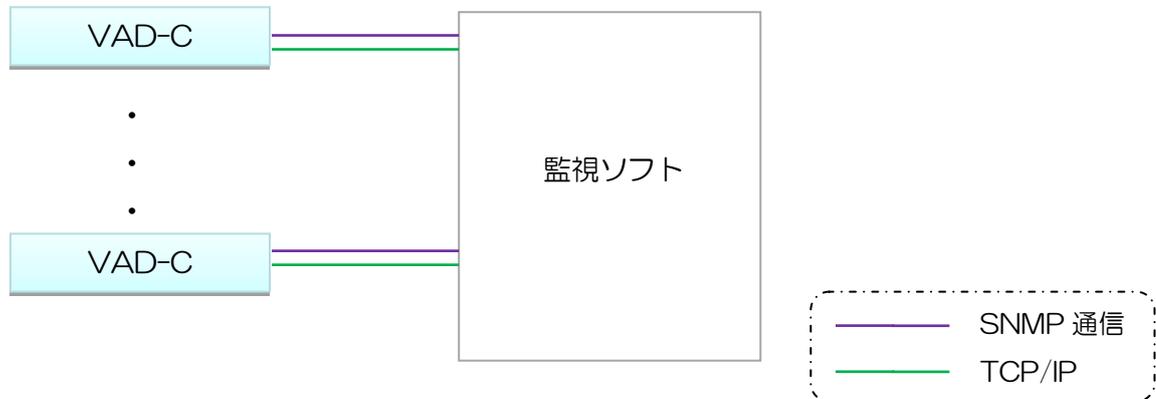
	ページ
1. 概要	3
1.1 システム構成図	3
2. 機能概要	3
3. 機能詳細	4
3.1 画音監視.....	4
3.1.1 アラーム Trap 受信と GUI 処理	4
3.1.1.1 検知 ON/OFF	4
3.1.1.2 VAD-C 画面.....	5
3.1.2 VAD-C 毎のアラーム状態表示.....	7
3.1.3 CH 詳細画面.....	8
3.1.4 ログ表示.....	9
3.1.5 アラーム発生時の音声発報	9
3.1.6 アラーム発生時のアラーム枠表示.....	10
3.2 各種設定.....	11
3.2.1 システム.....	11
3.2.1.1 表示 MV 数設定.....	11
3.2.1.2 接続設定	12
3.2.1.3 時刻同期設定.....	14
3.2.1.4 Trap 送信先設定	16
3.2.1.5 CSV ログ設定	17
3.2.2 アラーム.....	18
3.2.2.1 アラーム設定.....	18
3.2.2.2 アラームログ・音声設定.....	23
3.2.2.3 アラーム枠幅設定	26
3.2.3 レイアウト編集.....	27
3.3 ログ操作.....	28
3.3.1 ログ検索.....	28
3.3.2 ログ削除.....	31
3.4 機器状態参照.....	32
3.4.1 バージョン情報.....	32
3.4.2 時刻参照・設定.....	33
3.4.3 Trap 送信先	34
3.4.4 レベル.....	35
3.4.5 しきい値.....	36
3.4.6 マスク値.....	37
3.4.7 アラーム状態.....	38
3.4.8 ボードステータス.....	39
3.5 ソフトウェアバージョン情報	40
3.6 マルチビュー機能	41

3.6.1	レイアウト編集.....	42
3.6.1.1	動作プリセットの選択.....	43
3.6.1.2	ユーザープリセットの編集.....	46
3.6.1.3	背景色の設定.....	51
3.6.1.4	ロゴ表示設定.....	52
3.6.1.5	分割画面背面にあるロゴの操作.....	54
3.6.1.6	ロゴデータの変更.....	55
3.6.1.7	ロゴデータの送信.....	56
3.6.1.8	元に戻す・やり直し.....	57
3.6.2	初期化.....	58
3.6.2.1	出荷時設定に戻す.....	58
3.6.2.2	動作プリセットのレイアウトを初期化.....	58
3.6.3	チャンネル別画面詳細設定.....	59
3.6.3.1	画面表示のON/OFF.....	60
3.6.3.2	画面ポジション/サイズ設定.....	60
3.6.3.3	チャンネル枠設定.....	61
3.6.3.4	枠情報の保存.....	62
3.6.3.5	チャンネル名表示設定.....	63
3.6.3.6	オーディオバー表示設定.....	64
3.6.3.7	音声出力設定.....	65
3.6.4	設定チャンネル切り替え.....	66
3.6.5	設定の更新.....	66
3.6.6	設定のリセット.....	66
3.6.7	マルチビューワへのレイアウト設定の送信.....	67
3.6.8	マルチビューワからの設定値の取得.....	68
3.6.9	アラーム設定.....	69
3.6.10	ステータス表示.....	70
3.6.11	設定値のエクスポート.....	71
3.6.12	設定値のインポート.....	72

1. 概要

本書は、VAD-C画音監視ソフト（以下、監視ソフト）の操作について説明するものです。

1.1 システム構成図



2. 機能概要

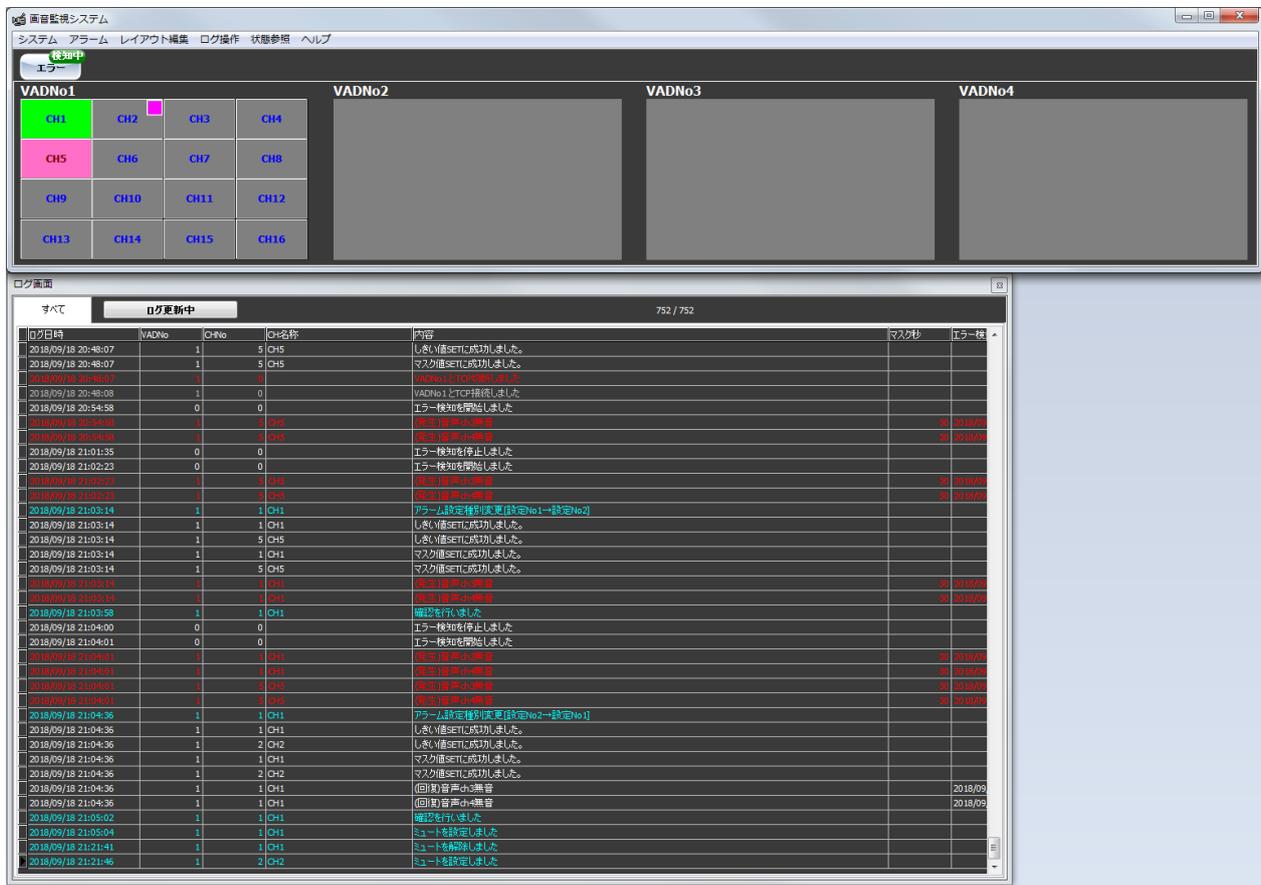
機能名称	機能内容
画音監視	アラーム Trap 受信と GUI 処理
	VAD-C 毎のアラーム状態表示
	CH 詳細画面 (CH 毎のミュート・CH 毎のアラーム設定種別変更)
	アラーム発生時のログ表示
	アラーム発生時の音声発報
	アラーム発生時のアラーム枠表示
各種設定	設定の変更・保存
時刻補正	外部から時刻取得 (NTP・HTTP)
	定期的な時刻取得・VAD-C への時刻補正
死活監視機能	VAD-C の定期的な機器状態取得と状態判定
ログ操作	ログの検索
	ログの削除
	ログの CSV 保存
機器状態参照機能	状態の参照
マルチビュー (以下 MV) 機能	VAD 毎のマルチビュー設定

内容	最大数
VAD-C 接続数	10 台 (20 OCH)
ログ保持数	メイン画面表示：1000 件 ログ検索：50,000 件
設定種類数	100
MV レイアウト プリセット数	28 (VAD-C 毎)

3. 機能詳細

3.1 画音監視

3.1.1 アラーム Trap 受信と GUI 処理

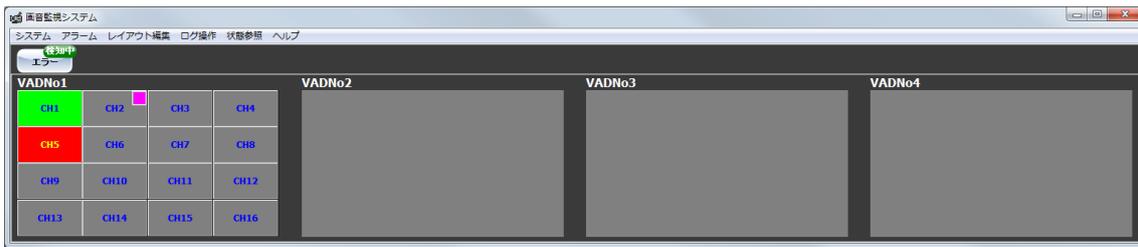


VAD-C よりアラーム Trap を受信した際に、VAD-C 画面でのアラーム表示・ログ表示・MV 画面への枠表示・音声発報を行いません。

3.1.1.1 検知 ON/OFF

-  をクリックする事で監視ソフトでのエラー検知を開始します。
- クリック後は  と表示されます。
- 再度クリックする事で監視ソフトでのエラー検知を停止します。

3.1.1.2 VAD-C 画面



VAD-C 毎のアラーム状態が表示されます。

CHの並び・位置・サイズはマルチビュー機能にて設定されたプリセット内容が反映されます。
表示するVAD-Cの数は3.2.1.1「表示MV数設定」で設定できます。

- VAD-C システムエラー

- ①VAD-C 切断状態

監視ソフトでは10秒毎にVAD-Cに対してヘルスチェックを実施しています。

VAD-Cとのヘルスチェックが失敗した場合、VADNoの部分が赤色表示となります。



ヘルスチェックが正常になった場合、黒色表示となります。



- ②ステータスエラー

VAD-CからステータスエラーTrapが通知された際にVADNo右側に以下が表示されます。



- CH 表示

CH 毎の状態が表示されます。CH 名称は 3.2.1.2 「接続設定」で設定できます。

CH ボタンを右クリックする事で 3.1.3 「CH 詳細画面」が表示されます。

表示内容は以下となります。

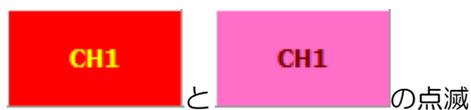
①エラー検知停止 or ボード無し



②検知中・正常



③検知中・アラーム発生



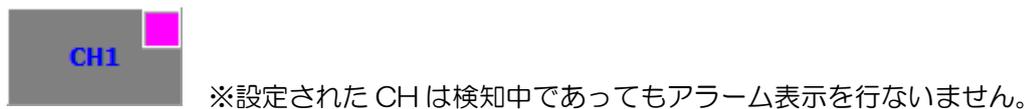
④検知中・アラーム発生・確認



⑤検知中・アラーム発生→回復



⑥ミュート



ミュート設定は 3.1.2 「VAD アラーム状態画面」及び
3.1.3 「CH 詳細画面」で設定できます。

3.1.2 VAD-C 毎のアラーム状態表示

VADNo1			
[1080i/59.94]	[1080i/59.94] Mute	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無
[1080i/59.94] [音声エラー]	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無
[unknown] ボード無	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無
[unknown] ボード無	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無	[unknown] ボード無

VAD-C 画面の  をダブルクリックする事で、本画面を表示する事が出来ます。

入力信号状態・ジャンル毎のアラーム発生状態（フリーズ/ブラック・音声エラー・SDI エラー）・ミュート状態・ボード有無状態が表示されます。

※アラーム状態による CH パネルの色変化はありません。

CH の並び・位置・サイズは 3.6.1 「レイアウト編集」にて設定されたプリセット内容が反映されます。

- ミュート設定

CH パネルをダブルクリックする事で CH 毎のミュート ON・OFF を設定できます。

- CH 詳細画面表示

右クリックする事で 3.1.3 「CH 詳細画面」が表示されます。

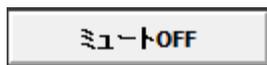
3.1.3 CH 詳細画面



3.1.1.2「VAD-C 画面」のCHパネル右クリック、または3.1.1.3「VAD アラーム状態画面」のCHパネルを右クリックする事で本画面を表示する事が出来ます。

本画面ではCH 毎のアラーム発生状態の表示・ミュート設定・アラーム設定種別の選択が行えます。

- ミュート設定



をダブルクリックする事でミュートをON する事が出来ます。

ミュート ON 時は  と表示され、再度ダブルクリックをする事で OFF に出来ます。

- アラーム設定種別の選択



を選択する事で CH 毎のアラーム設定種別を選択できます。

選択後は VAD-C に対して選択された設定種別のしきい値・マスク値が SET されます。しきい値・マスク値は 3.2.2.1「アラーム設定」で編集が出来ます。

3.1.4 ログ表示

ログ日時	VADNo	CHNo	CH名称	内容	マスク秒	エラー検知日時	エラー継続時間
2018/09/18 21:02:23	1	5	CH5	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:02:54	
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	アラーム設定種別変更(設定No1→設定No2)			
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	しきい値SETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	5	CH5	しきい値SETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	マスクSETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	5	CH5	マスクSETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:02:45	
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:02:45	
2018/09/18 21:03:58	1	1	CH1	確認を行いました			
2018/09/18 21:04:00	0	0	0	エラー検知を停止しました			
2018/09/18 21:04:01	0	0	0	エラー検知を開始しました			
2018/09/18 21:04:01	1	1	CH1	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:01	1	1	CH1	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:01	1	5	CH5	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:01	1	5	CH5	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	アラーム設定種別変更(設定No2→設定No1)			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	しきい値SETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	2	CH2	しきい値SETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	マスクSETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	2	CH2	マスクSETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	(回復)音声の無音		2018/09/18 21:03:32	00:01:04
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	(回復)音声の無音		2018/09/18 21:03:32	00:01:04
2018/09/18 21:05:02	1	1	CH1	確認を行いました			
2018/09/18 21:05:04	1	1	CH1	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:21:41	1	1	CH1	ミュートを解除しました			
2018/09/18 21:21:46	1	2	CH2	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:31:58	1	2	CH2	ミュートを解除しました			
2018/09/18 21:31:59	1	2	CH2	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:37:42	1	5	CH5	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:37:43	1	5	CH5	ミュートを解除しました			
2018/09/18 21:37:43	1	5	CH5	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:37:14	
2018/09/18 21:37:43	1	5	CH5	(発生)音声の無音	30	2018/09/18 21:37:14	
2018/09/18 21:49:43	1	1	CH1	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:51:32	1	5	CH5	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:51:44	1	1	CH1	ミュートを解除しました			
2018/09/18 21:51:47	1	6	CH6	ミュートを設定しました			

アラーム発生/回復、設定変更、VAD-C への SET 成否についてログ表示されます。

- ログ更新中 ボタンをクリックすると、ログ更新を一時停止します。
- ログ更新一時停止中 ボタンをクリックするとログ更新を再開します。
- ボタンの右側には「選択中のログ No./現在のログ総数 (最大 1,000 件)」が表示されます。

3.1.5 アラーム発生時の音声発報

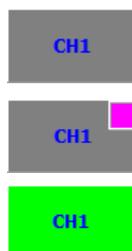
- アラーム発生時に音声発報を行います。
- 音声内容は「CH 毎の音声内容」 + 「アラーム音声内容」となります。
- 発報中は 3.1.1.2 「VAD-C 画面」の CH ボタンクリック、またはアラーム回復時に音声発報を停止します。
- 音声内容は 3.2.1.2 「接続設定」及び 3.2.2.2 「アラームログ・音声設定」で設定変更ができます。

3.1.6 アラーム発生時のアラーム枠表示

- 3.1.1.2「VAD-C 画面」のCH表示と連動してMV画面にアラーム枠を表示します。
- 「検知中・アラーム発生」「検知中・アラーム発生・確認」「検知中・アラーム発生→回復」はボタン色と同様の枠色となり、その他の場合は3.6.3.3「チャンネル枠設定」で設定したプリセットの枠を表示します。
- アラーム枠の幅は3.2.2.3「アラーム枠幅設定」で設定変更できます。

表示例①：検知停止/ミュート/検知中正常状態

CHパネル

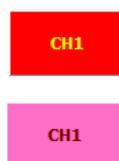


MV表示



表示例②：検知中アラーム発生

CHパネル



点滅

MV表示



点滅

表示例③：検知中アラーム発生→CHパネルクリック（確認）

CHパネル



MV表示



表示例 4：検知中アラーム発生→回復

CHパネル



MV表示



3.2 各種設定

3.2.1 システム

3.2.1.1 表示 MV 数設定

◇3.1.1.2 「VAD-C 画面」に表示する VAD-C の行数及び列数を設定できます。



(1)本画面の起動

メニューバーの「システム」→「表示 MV 数設定」をクリックします。

(2)モニタ数「行」「列」

3.1.1.2 「VAD-C 画面」に表示する行数・列数を選択します。

(3)設定の保存と本画面の終了

 ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

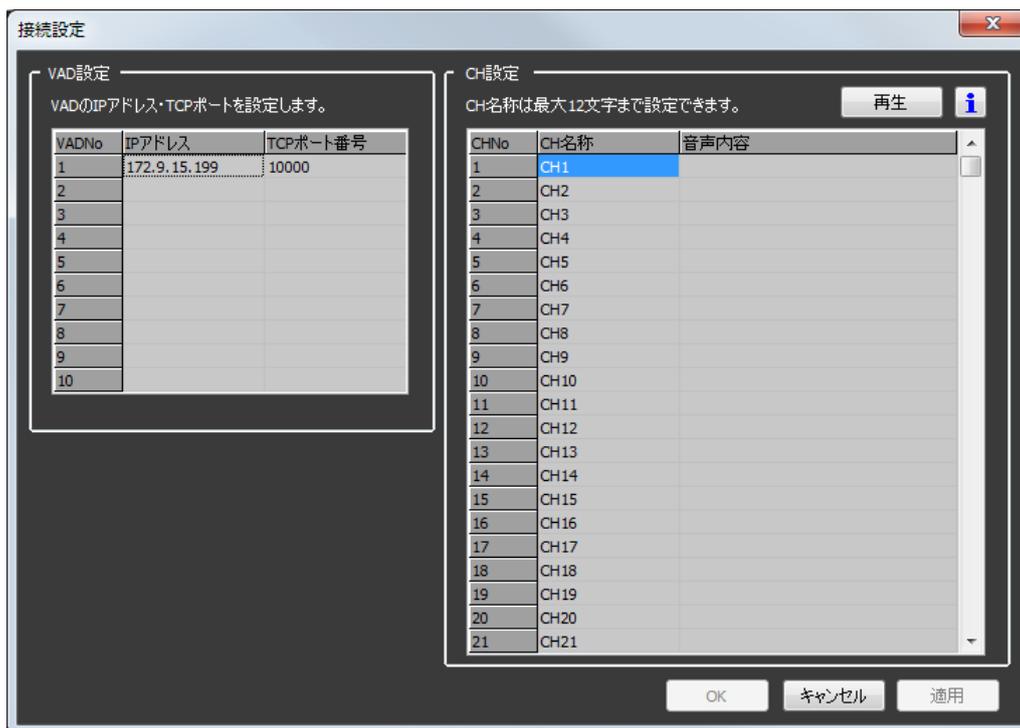
(4)本画面の終了

 ボタンをクリックします。

変更した設定値は無効となります。

3.2.1.2 接続設定

◇接続する VAD-C の IP アドレス・ポート番号、CH 毎の名称・音声内容を設定できます。



(1) 本画面の起動

メニューバーの「システム」→「接続設定」をクリックします。

(2) VAD 設定

接続する VAD-C の IP アドレス・TCP ポート番号を設定します。

※VAD-C のポート番号は 10000 が初期値です。

(3) CH 設定

CH の名称・アラーム発生時の音声内容を設定します。

CHNo は以下の様に VADNo と関連付けされております。

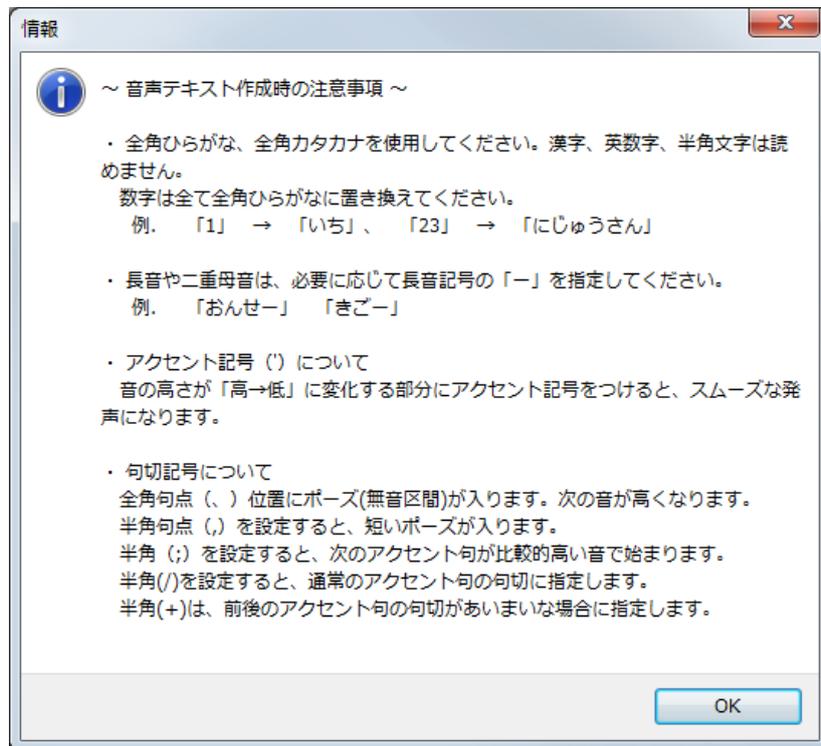
- VADNo1 : CHNo1～20
- VADNo2 : CHNo21～40
- VADNo3 : CHNo41～60
- VADNo4 : CHNo61～80
- VADNo5 : CHNo81～100
- VADNo6 : CHNo101～120
- VADNo7 : CHNo121～140
- VADNo8 : CHNo141～160
- VADNo9 : CHNo161～180
- VADNo10 : CHNo181～200

再生

をクリックする事で選択中のCHの音声内容が確認できます。



をクリックする事で音声内容の設定方法が表示されます。



(4) 設定値の保存

適用

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(5) 設定の保存と本画面の終了

OK

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(6) 本画面の終了

キャンセル

ボタンをクリックします。

「適用」「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

3.2.1.3 時刻同期設定

◇外部からの時刻の取得方法、時刻合わせの契機を設定できます。

(1) 本画面の起動

メニューバーの「システム」カテゴリ内→「時刻同期設定」をクリックします。

(2) 時刻の取得方法

① NTPサーバーを使用

NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う にチェックをし、NTPサーバーのIPアドレスを入力します。

② HTTPサーバーを使用

HTTPを使用して時刻合わせを行う (webサーバーが必要です) にチェックをし、WEBサーバーのIPアドレスを入力します。

③ 外部から時刻を取得しない

外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します) にチェックをします。

この設定をした場合であってもPCとVAD-Cの時刻同期は行います。

(3)時刻補正のタイミング

①日に2回

1日に2回 時と 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う

時刻を入力します。

②日に1回

毎日 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う時刻を入力します。

③日に数回

経過時間 分毎に合わせます にチェックをし、時刻補正間隔を入力します。

・設定範囲は<1>~<1440>です。

※23:55:00~0:05:00 の間は時刻補正を行いません。

(4)手動時刻合わせ機能

設定されている時刻の取得方法を使用し、手動での時刻合わせを行います。

ボタンをクリックします。

(5)設定の保存と本画面の終了

ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

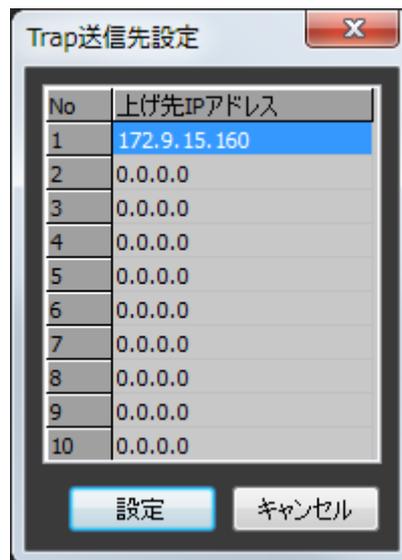
(6)本画面の終了

ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

3.2.1.4 Trap 送信先設定

◇アラーム Trap の送信先を VAD-C に設定できます。



(1)本画面の起動

メニューバーの「システム」→「Trap 送信先設定」をクリックします。

(2)上げ先 IP アドレス

Trap を送信する IP アドレスを選択します。

※監視ソフトがインストールされている IP アドレスを設定していない場合、Trap 受信が出来ないため、監視機能が動作しません。

※存在しない IP アドレスを設定しますと VAD-C の動作が不安定となるため、設定しないでください。

(3)設定値の保存・VAD-C に反映



ボタンをクリックします。

設定の保存後、3.2.1.2「接続設定」で設定された VAD-C に対して上げ先 IP アドレスを反映します。

(5)本画面の終了

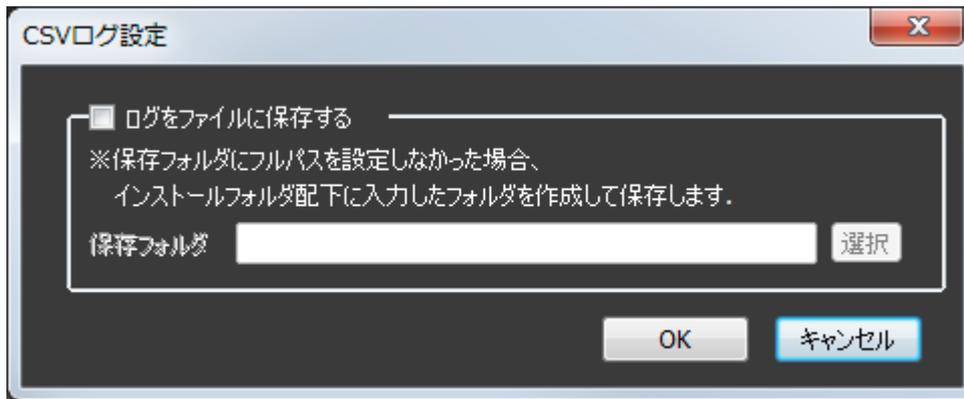


ボタンをクリックします。

変更した設定値は無効となります。

3.2.1.5 CSV ログ設定

◇発生したログの保存フォルダを設定できます。



(1)本画面の起動

メニューバーの「システム」「CSV ログ設定」をクリックします。

(2)設定

①ログをファイルに保存する

チェックを入れることでログを CSV 形式で保存します。

②保存フォルダ設定

- CSV ファイルを保存するフォルダを設定します。
- **選択** をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力してください。
- 設定できるパスは200文字までです。

※保存時は設定フォルダの配下に“年”フォルダ及び“月”フォルダを自動作成し、その配下に“ログ_年月日.csv”という形式で保存されます。

(3)設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

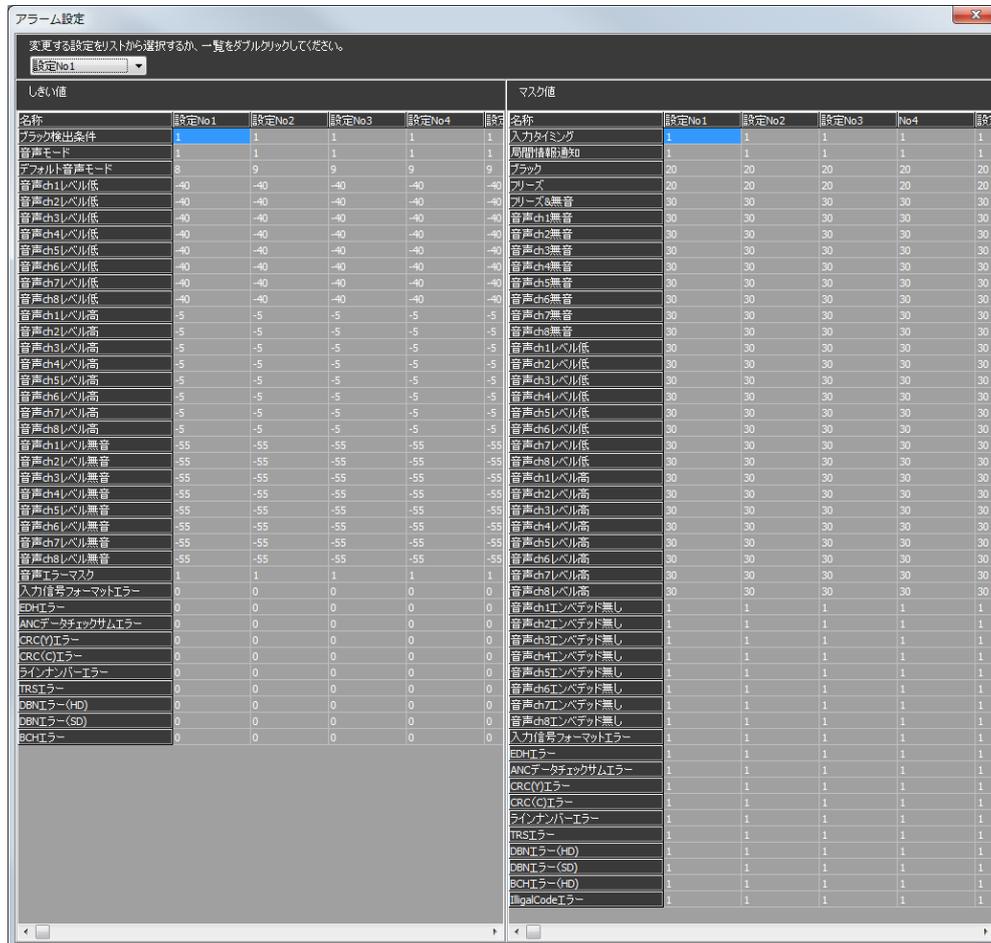
「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

3.2.2 アラーム

3.2.2.1 アラーム設定

◇アラームに関して、しきい値・マスク値の設定が出来ます。

設定は 100 種類まで設定できます。



(1) 本画面の起動

メニューバーの「アラーム」→「アラーム設定」をクリックします。

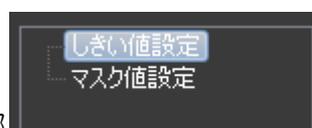
(2) 設定を行う設定 No の選択

設定を行う設定 No を より選択、またはリストをダブルクリックすることで設定画面が表示されます。

(3) 設定名称の変更

にて、設定名称を変更できます。

(4) しきい値・マスク値設定画面の切替



画面左部 より、表示したい設定画面を選択します。

(5) しきい値設定



- 初期値に戻す

初期値に戻す ボタンをクリックすることで設定値を初期値に戻します。

※「適用」「OK」ボタンをクリックするまでは設定値の保存・VAD-C への送信は行いません。

- ブラックエラー検出条件

ブラックエラーの検出条件を選択します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

- 音声

① 音声レベル高

設定されたしきい値以上となった場合、レベル高エラーとします。

設定値範囲は<-50>~<0>dB です。初期値は<-5>です。

② 音声レベル低

設定されたしきい値以下となった場合、レベル低エラーとします。

設定値範囲は<-50>~<0>dB です。初期値は<-40>です。

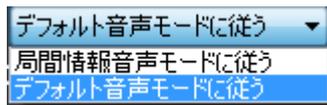
③ 無音

設定されたしきい値以下となった場合、無音エラーとします。

設定値範囲は<-60>~<0>dB です。初期値は<-55>です。

- 音声モード

音声モードの元ソースを選択します。



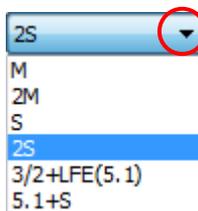
「局間情報音声モードに従う」を選択した場合、局間情報がある場合はその音声モードに従い、局間情報が無い場合は「デフォルト音声モード」で設定した音声モードに従います。

「デフォルト音声モードに従う」を選択した場合、局間情報の有無にかかわらず、

「デフォルト音声モード」で設定した音声モードに従います。

- デフォルト音声モード

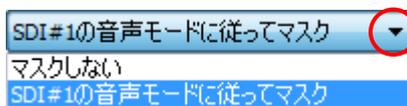
局間情報が無い場合のデフォルト音声モードを設定します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

- 音声エラーマスク方法

各音声チャンネルでエラー発生時に、音声モードにしたがってマスクする／マスクしないを選択します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

- SDIエラー

エラーとする 1 秒間での発生回数をエラー項目ごとに設定します。

設定値範囲は<0>～<30>回 です。初期値は<0>です。

(6) マスク値設定

アラーム設定(設定No1)

設定名称 設定No1

しきい値設定
マスク値設定

マスク値

全マスク 初期値に戻す

映像

入力タイミング通知 局間情報通知

ブラック 20 フリーズ 20

フリーズ無音 30

音声

	Ch1(L)	Ch2(R)	Ch3(C)	Ch4(LFE)	Ch5(LS)	Ch6(RS)	Ch7(Lt)	Ch8(Rt)
レベル高	30	30	30	30	30	30	30	30
レベル低	30	30	30	30	30	30	30	30
無音	30	30	30	30	30	30	30	30
エンベデッド無	1	1	1	1	1	1	1	1

SDIエラー

入力信号フォーマットエラー	1	TRSエラー	1
EDHエラー	1	DBNエラー (HD)	1
ANDデータチェックサムエラー	1	DBNエラー (SD)	1
CRC(Y)エラー	1	BCHエラー	1
CRC(C)エラー	1	IllegalCodeエラー	1
ラインナンバーエラー	1		

OK キャンセル 適用

- 全マスク値0ボタン

全マスク ボタンをクリックすることで全てのマスクを0にします。

※「適用」「OK」ボタンをクリックするまでは設定値の保存・VAD-Cへの送信は行いません。

- 初期値に戻す

初期値に戻す ボタンをクリックすることで設定値を初期値に戻します。

※「適用」「OK」ボタンをクリックするまでは設定値の保存・VAD-Cへの送信は行いません。

- マスク値の設定

マスク値の秒数を設定します。設定範囲は<0>~<9999>秒です

※0秒を設定した場合、アラーム通知は行いません。

マスクとは、エラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を遅らせ、マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

「入力タイミング通知」「局間情報通知」はチェックの有無で通知する/しないを切り替えます。

(7) 設定値の保存



ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(8) 設定の保存と本画面の終了



ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(9) 本画面の終了



ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は
変更した設定値は無効となります。

3.2.2.2 アラームログ・音声設定

◇アラームに関して、音声発報有無、アラーム文言・音声を設定します。

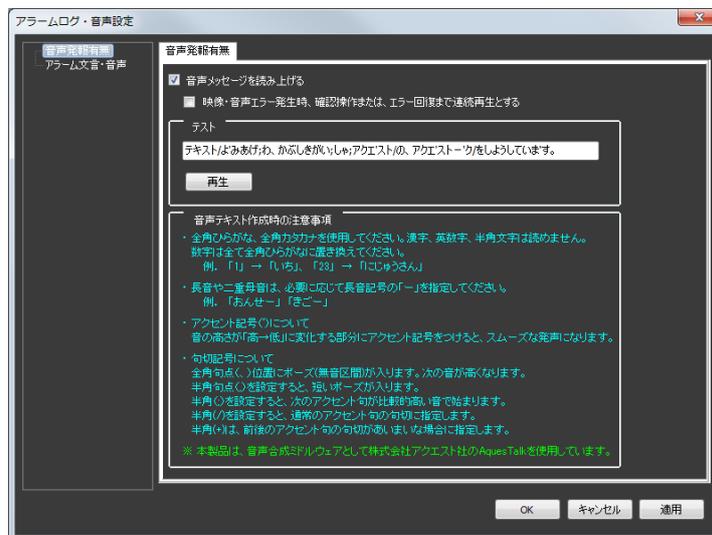
(1) 本画面の起動

メニューバーの「アラーム」「アラームログ・音声設定」をクリックします。

(2) 音声発報有無／アラーム文言・音声画面の切り替え

画面左部  より、表示したい設定画面を選択します。

(3) 音声発報有無



① テキスト読み上げの設定

- **音声メッセージを読み上げる** をチェックすることでエラー発生時に 2.2.2.2 「アラーム文言・音声」にて設定した音声メッセージを読み上げます。
- システムエラー発生時は、固定の音声メッセージを読み上げます。

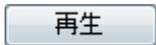
② 連続再生設定

映像・音声エラー発生時、確認操作または、エラー回復まで連続再生とする をチェックすることでエラー発生時に確認操作またはエラー回復まで連続で音声メッセージを読み上げます。

※①にて **音声メッセージを読み上げる** のチェックを外すとこの機能は無効となります。

③ 音声メッセージの作成と再生

テスト内の文章を読み上げます。

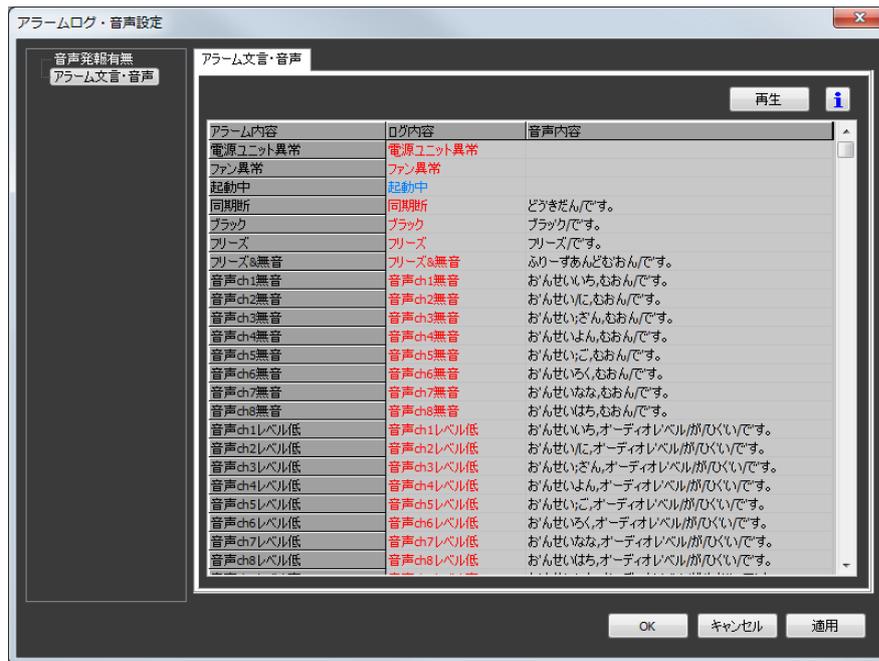
 ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を1回読み上げます。

※②にて **音声メッセージを読み上げる** のチェックを外すとこの機能は無効となります。

④ 音声テキスト作成時の注意事項

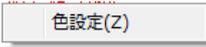
音声メッセージを設定する際の注意事項です。こちらを参考にメッセージを作成します。

(4)アラーム文言・音声



①アラーム文言の設定

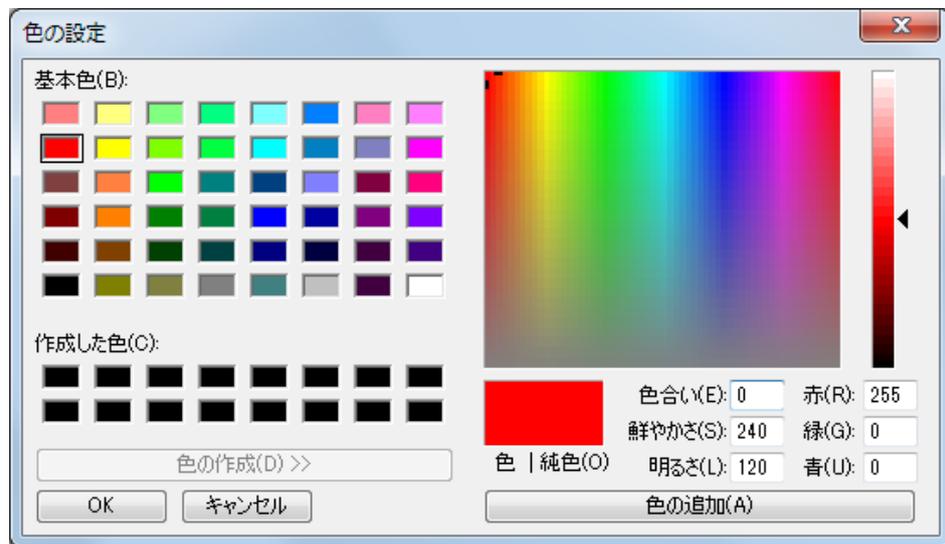
- ログに表示する文言を設定します。

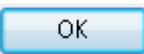
- 編集エリアを右クリックし、 をクリックすることで以下の画面を表示します。



- 設定する色を選択します。

-  をクリックすることで色作成画面を表示し、任意の色を作成して  をクリックすることで作成した色を選択することが出来ます。



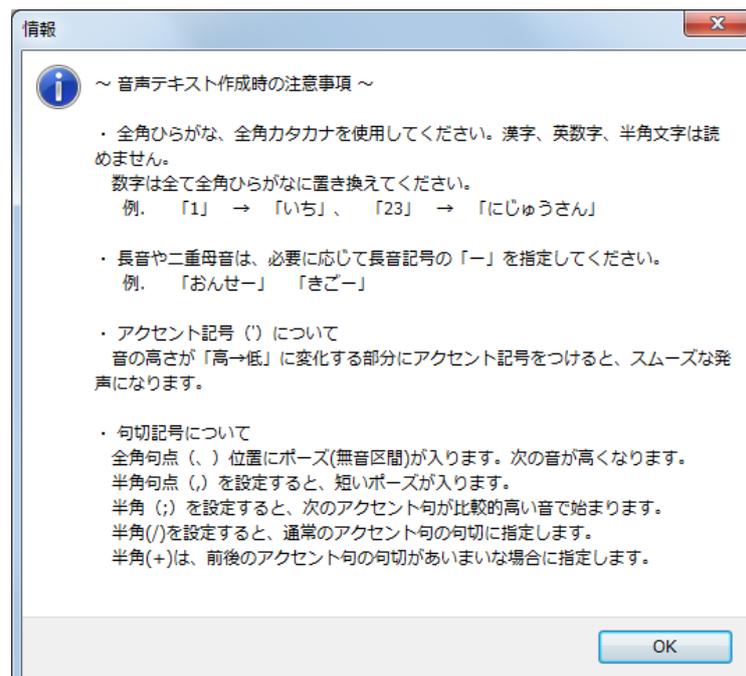
-  をクリックして色を設定します。

②アラーム音声の設定

エラー発生時に読み上げる音声メッセージを設定します。

エラー発生時は 3.2.2.1 「接続設定」の CH 音声内容と本設定が読み上げられます。

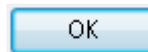
-  をクリックすることで選択中の音声メッセージが再生されます。
-  をクリックすることで音声テキスト作成時の注意事項が表示されます。



(5)設定値の保存

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(6)設定の保存と本画面の終了

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

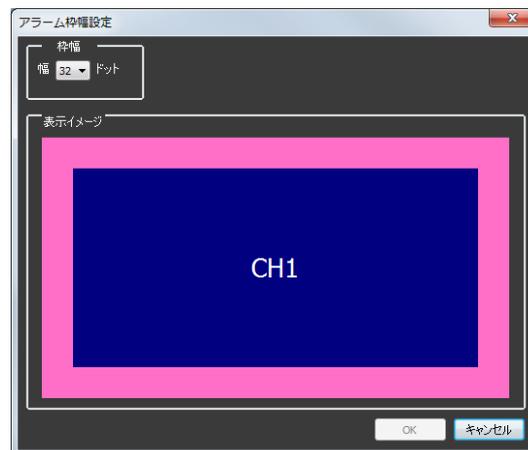
(7)本画面の終了

ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

3.2.2.3 アラーム枠幅設定

◇MV に表示するアラーム枠の幅を設定します。

**(1)本画面の起動**

メニューバーの「アラーム」→「アラーム枠幅設定」をクリックします。

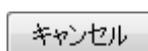
(2)枠幅の設定

枠幅を設定します。設定は0,4,8,16,24,32 より選択できます。

(3)設定の保存と本画面の終了

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

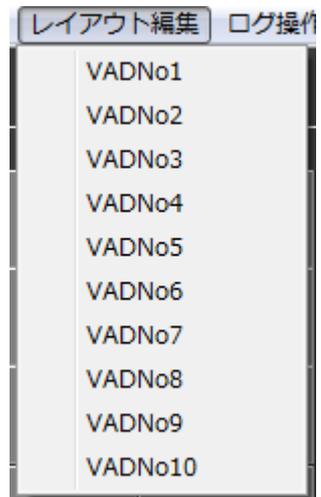
(4)本画面の終了

ボタンをクリックします。変更した設定値は無効となります。

3.2.3 レイアウト編集

◇VAD-C 毎に MV に表示するレイアウトを編集します。

編集を行う VADNo をクリックする事で編集画面が表示されます。



詳細は 3.6 「マルチビュー機能」を参照ください。

3.3 ログ操作

3.3.1 ログ検索

◇条件を指定してログを検索します。

ログ検索

※ 検索条件設定はAND条件となります

VADNo指定

1

CH指定

CH1

発生日時指定

	日付	時刻
開始	2018/09/17	23:10:04
終了	2018/09/18	23:10:04

キーワード(内容)指定

ログ種別指定

- システムログ
- 映像・音声エラーログ

(アラーム種別・エラー項目はCH指定をすると表示されます)

アラーム種別

エラー項目

検索開始 キャンセル

(1) 本画面の起動

メニューバーの「ログ操作」→「ログ検索」をクリックします。

(2) 検索条件の設定

検索条件設定は AND 条件となります。

① VADNo 指定

検索する VADNo を選択します。

② CH 指定

検索するチャンネルを指定します。

③ 発生日時指定

検索範囲の日時を FromTo 指定します。

④ キーワード内容指定

ログ（アラーム）をキーワード検索する時に指定します。

⑤ ログ種別指定

画音監視ログ内の特定のログを検索する時に選択します。

・システムログ

システムログのみを検索する際にチェックします。

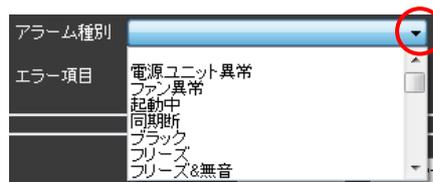
・映像・音声エラーログ

エラーログのみを検索する際にチェックします。CH 指定が必要となります。

また、アラーム種別やエラー項目を指定して検索することができます。

アラーム種別を指定すると、エラー項目が選択できるようになります。

アラーム種別の選択



ここをクリックし、表示されるリストより選択します。

エラー項目の選択



アラーム種別を選択することにより、ここをクリックするとリストが表示されます。

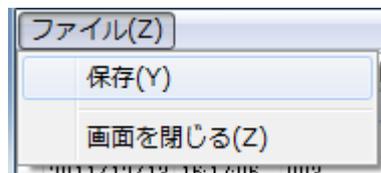
検索したいエラー項目を選択します。

(3) 検索結果の表示と保存

検索開始 ボタンをクリックすることでログ検索画面が終了し、ログ検索結果画面が表示されます。

ログ日時	VADNo	ChNo	Ch名称	内容	マスク秒	エラー検知日時	エラー継続時間
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	しきりVADSETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	マスクVADSETに成功しました。			
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	(発生)音声ch3無音	30	2018/09/18 21:03:45	
2018/09/18 21:03:14	1	1	CH1	(発生)音声ch4無音	30	2018/09/18 21:03:45	
2018/09/18 21:03:58	1	1	CH1	確認を行いました			
2018/09/18 21:04:01	1	1	CH1	(発生)音声ch3無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:01	1	1	CH1	(発生)音声ch4無音	30	2018/09/18 21:03:32	
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	アラーム設定種別変更(設定No2→設定No1)			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	しきりVADSETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	マスクVADSETに成功しました。			
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	(回線)音声ch3無音		2018/09/18 21:03:32	00:01:04
2018/09/18 21:04:36	1	1	CH1	(回線)音声ch4無音		2018/09/18 21:03:32	00:01:04
2018/09/18 21:05:02	1	1	CH1	確認を行いました			
2018/09/18 21:05:04	1	1	CH1	ミュートを設定しました			
2018/09/18 21:11:41	1	1	CH1	ミュートを解除しました			

- ① 検索結果を csv ファイルに保存
ファイルメニューから表示します。



- ② ログ検索結果のソート
タイトルをクリックすると、クリックした項目+日時の昇順でソートします。

- ③ ログ件数
左下に「選択中のログ No./ログ総数 (最大 50,000 件)」が表示されます。

(4) ログ検索画面の終了

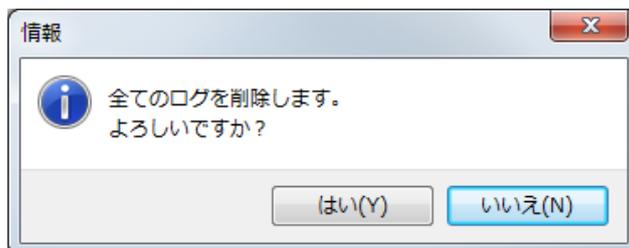
キャンセル ボタンをクリックします。

3.3.2 ログ削除

- ◇ 取得したログデータを全て削除します。
- ◇ 本機能に画面は存在しません。

• ログの削除

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ削除」をクリックします。



はい(Y)

ボタンをクリックすると、全てのログを削除します。

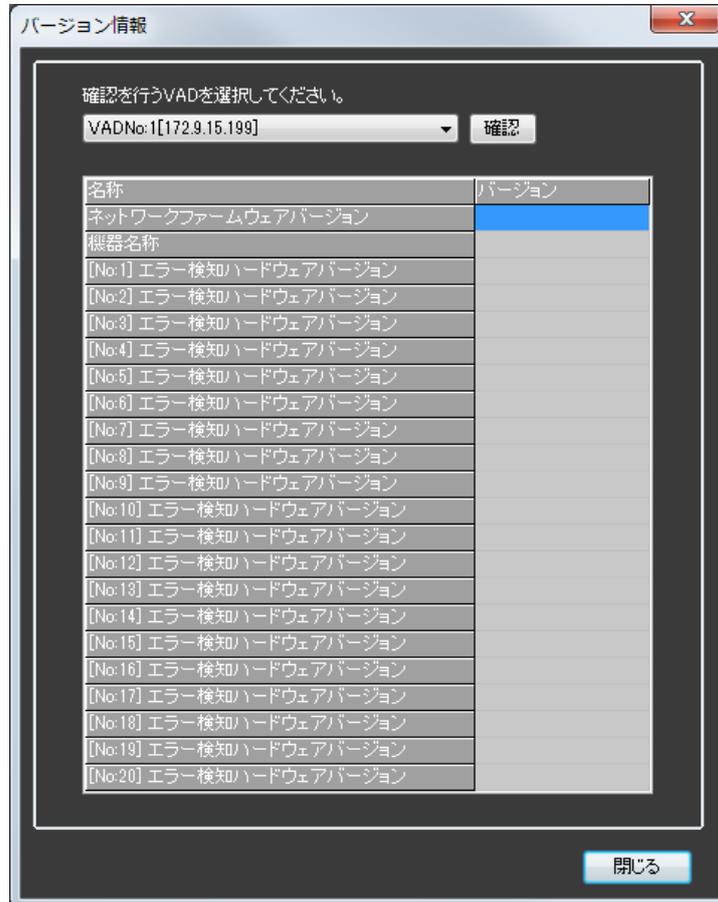
※ログの削除は、データベース上のデータを削除されるのみで、保存した CSV ファイルは削除しません。

3.4 機器状態参照

◇VAD-C より現在の状態を取得する事が出来ます。

3.4.1 バージョン情報

◇ VAD-C のバージョン情報を参照します。

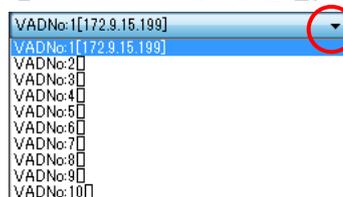


(1)本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「バージョン情報」をクリックします。

(2)VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3)バージョンの確認

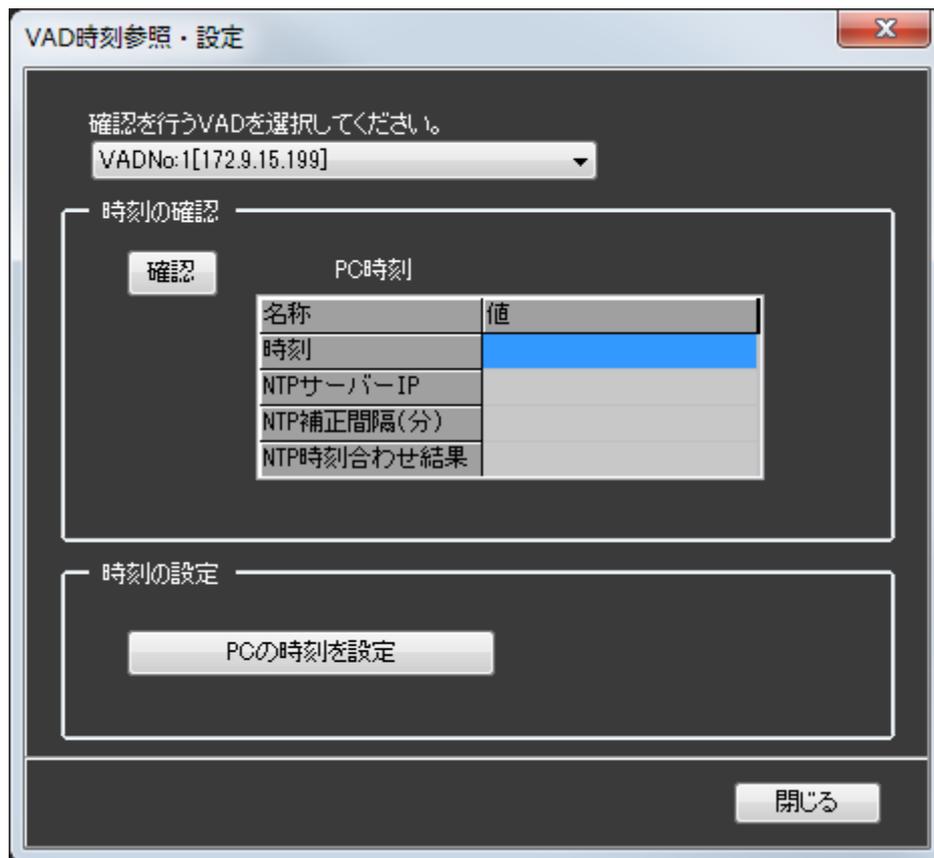
ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

ボタンをクリックします。

3.4.2 時刻参照・設定

◇ VAD-C の時刻参照と時刻設定を行います。

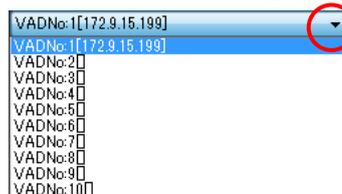


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「バージョン情報」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) 時刻参照

ボタンをクリックします。

(4) 時刻の設定

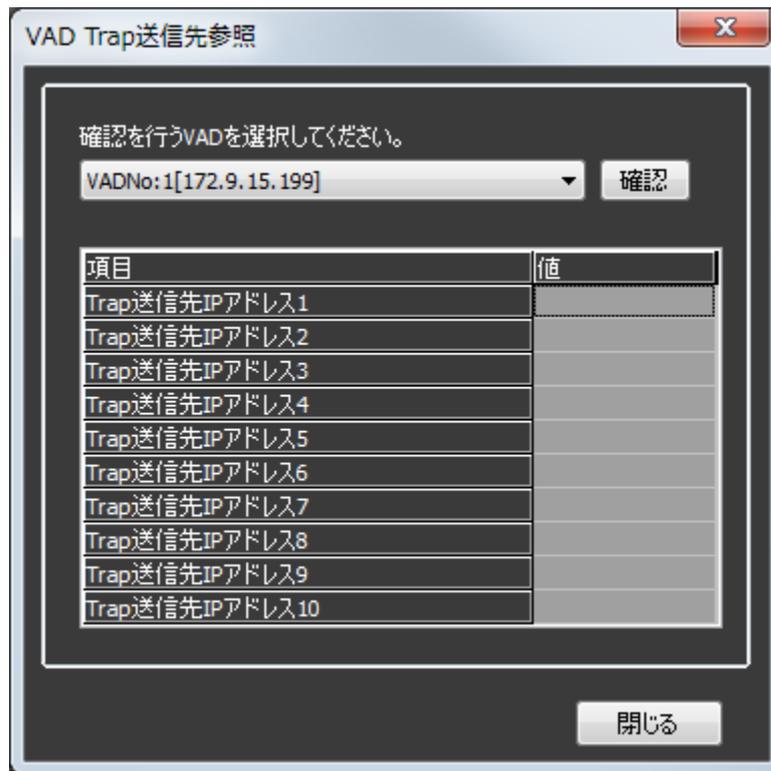
ボタンをクリックすると PC の現在時刻を VAD に設定できます。

(5) 本画面の終了

ボタンをクリックします。

3.4.3 Trap 送信先

◇ VAD-C の Trap 送信先参照を行います。

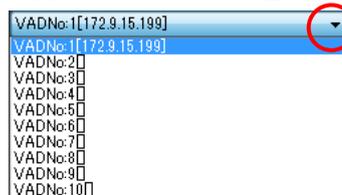


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「Trap 送信先」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

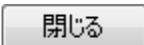


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) Trap 送信先参照

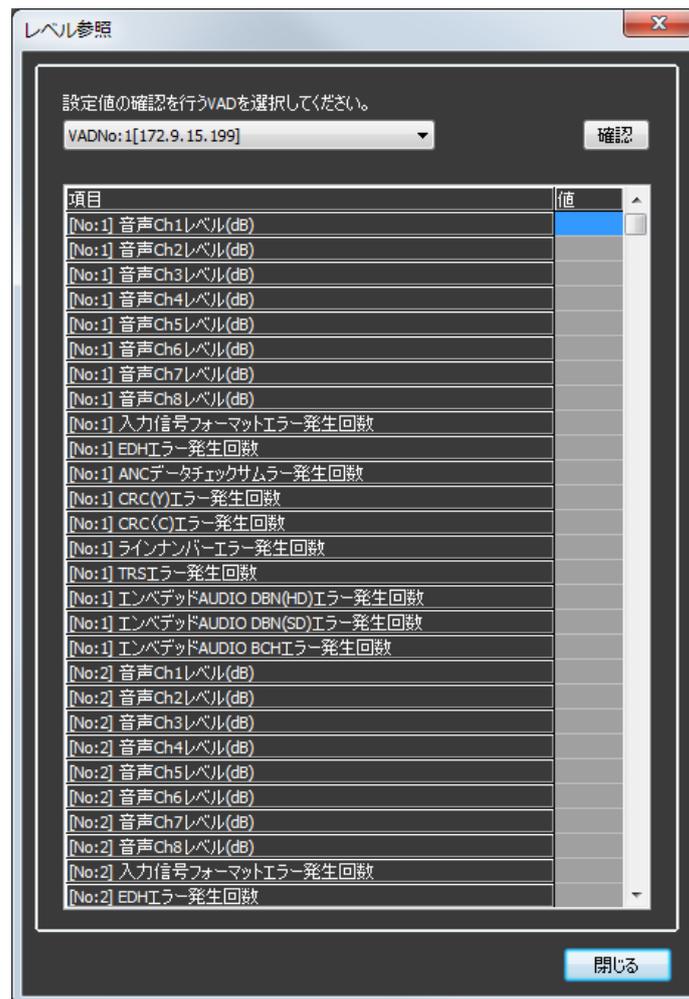
 ボタンをクリックします。

(4) 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.4.4 レベル

◇ VAD-C の入力信号の状態を参照します。

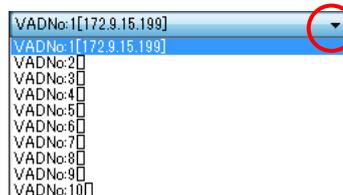


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「レベル」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

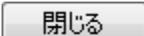


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) レベル参照

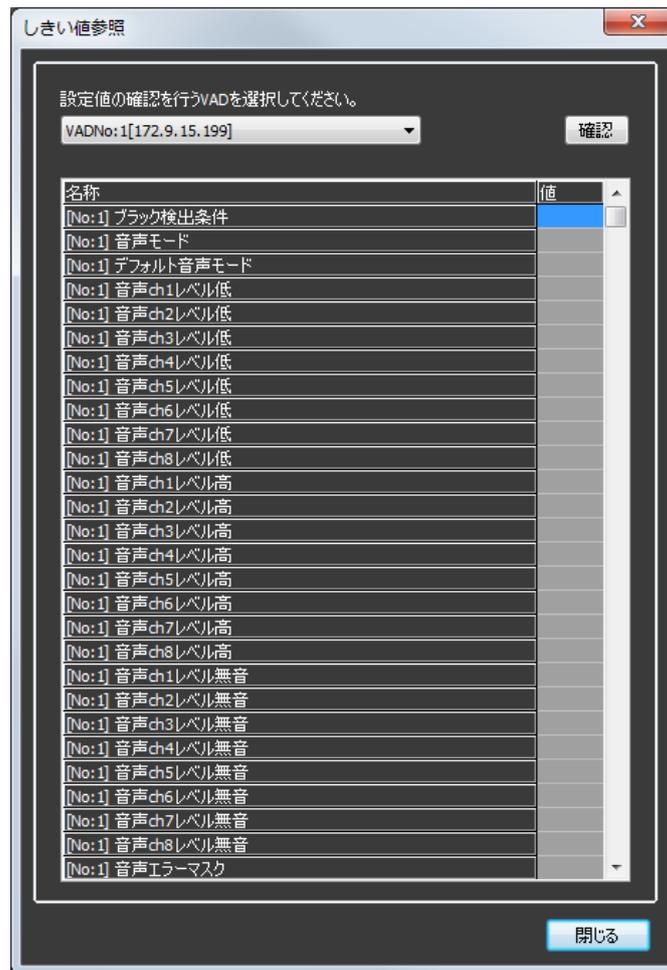
 ボタンをクリックします。

(4) 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.4.5 しきい値

◇ VAD-C に設定されているしきい値を参照します。

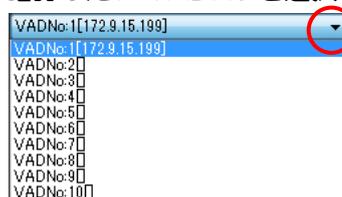


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「しきい値」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

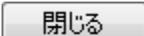


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) しきい値参照

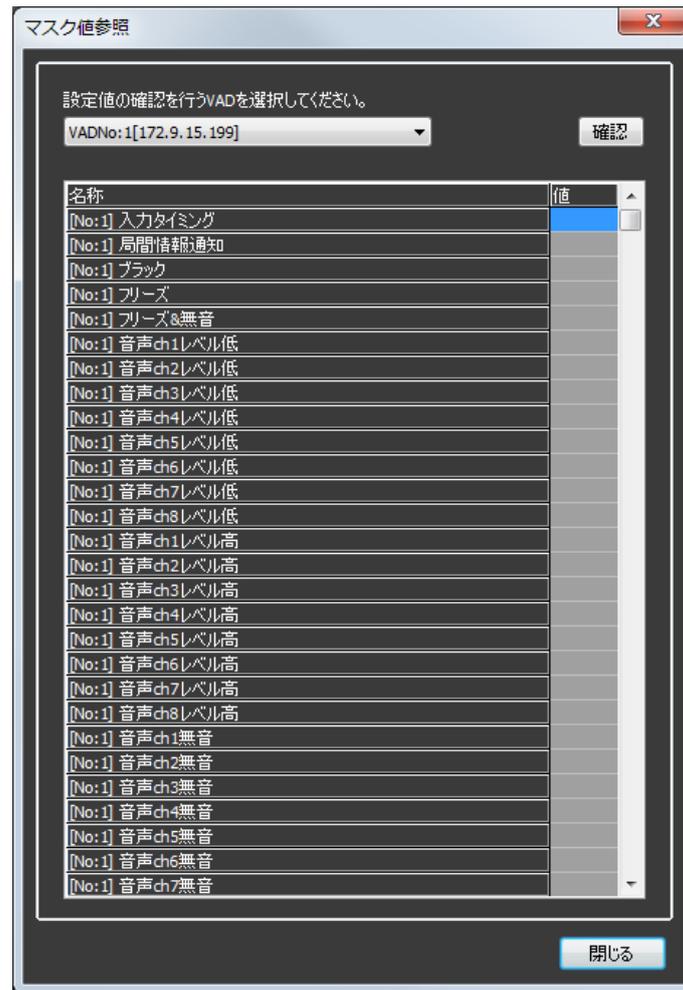
 ボタンをクリックします。

(4) 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.4.6 マスク値

◇ VAD-C に設定されているマスク値を参照します。

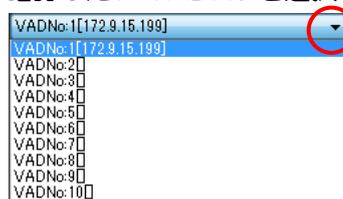


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「マスク値」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

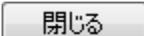


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) マスク値参照

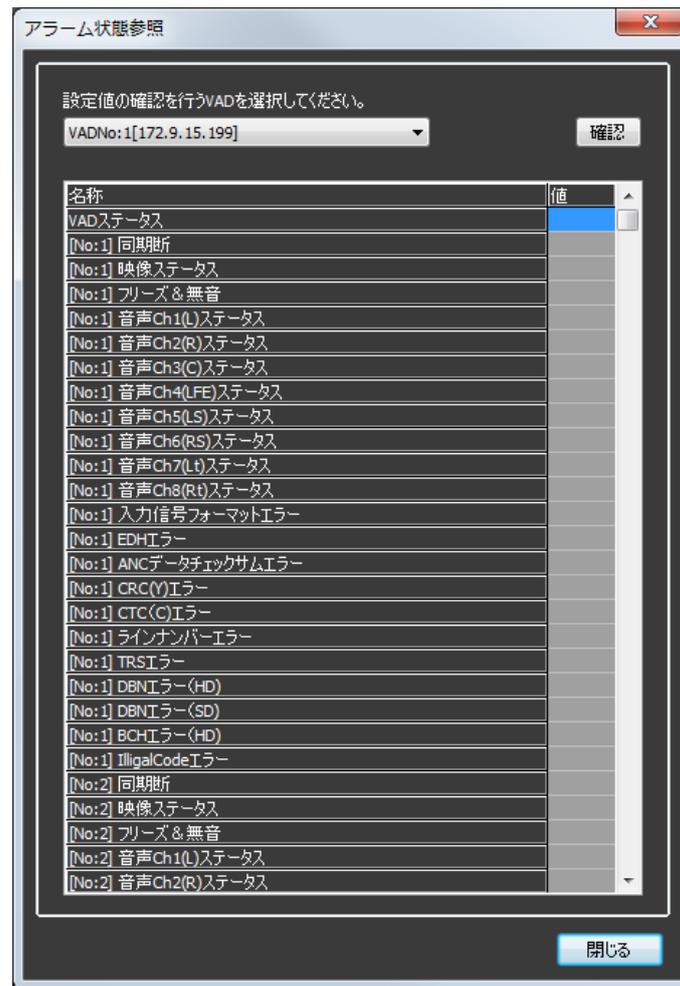
 ボタンをクリックします。

(4) 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.4.7 アラーム状態

◇ VAD-C の現在のアラーム状態を参照します。

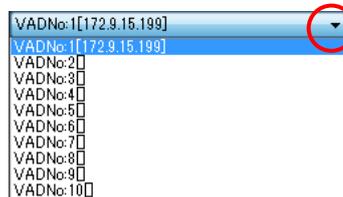


(1) 本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「アラーム状態」をクリックします。

(2) VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

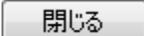


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) アラーム状態参照

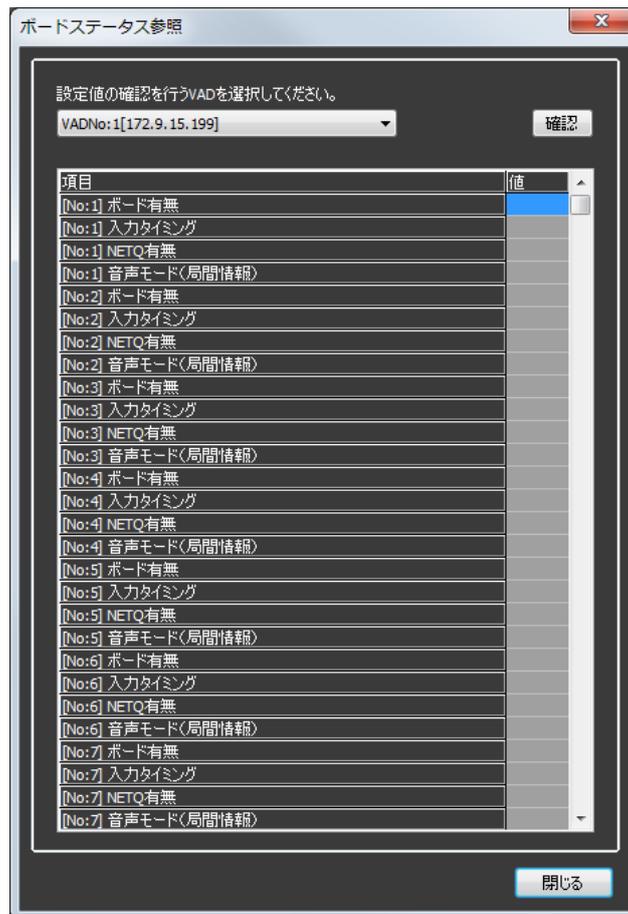
 ボタンをクリックします。

(4) 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.4.8 ボードステータス

◇ VAD-C のボード毎の状態を参照します。

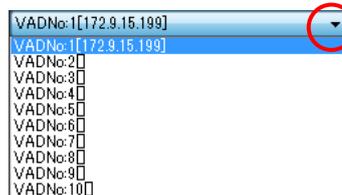


(1)本画面の起動

メニューバーの「状態参照」→「ボードステータス」をクリックします。

(2)VAD の選択

確認したい VADNo を選択します。

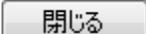


をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3)ボードステータス参照

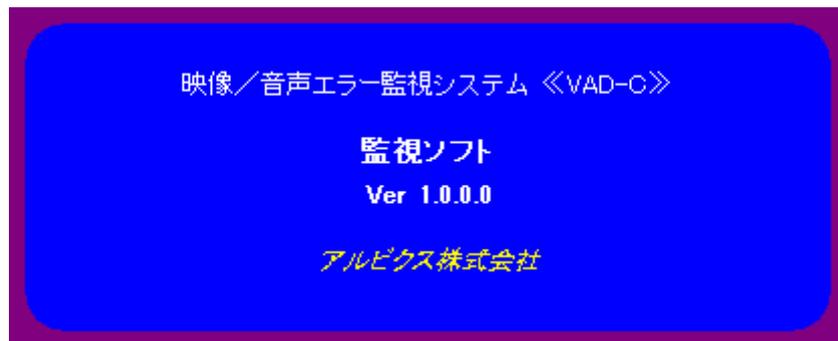
 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

 ボタンをクリックします。

3.5 ソフトウェアバージョン情報

◇ 監視ソフトのバージョン情報を表示します。



(1)本画面の起動

メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。

(2)本画面の終了

本画面をクリックします。

3.6 マルチビュー機能

◇CH 表示を任意のサイズ、位置でレイアウトが可能です。

◇固定レイアウトの他に、20通りのレイアウトをプリセット登録しておく事が可能です。

(固定レイアウト：8個 + ユーザープリセット：20個)

◇チャンネルごとに64色の中から枠色を指定可能です。

また、枠幅の設定も可能です。(0、4、8、16、24、32ドット)

※設定された枠は検知停止状態・ミュート状態・検知中のアラーム正常状態時に表示されます。

◇空きチャンネルのエリアにロゴなどの静止画(JPG、BMP)を合成する事が可能です。

◇チャンネルごとにチャンネル名称などを表示する事が可能です。

表示するチャンネル名称は3.2.1.2「接続設定」で編集できます。

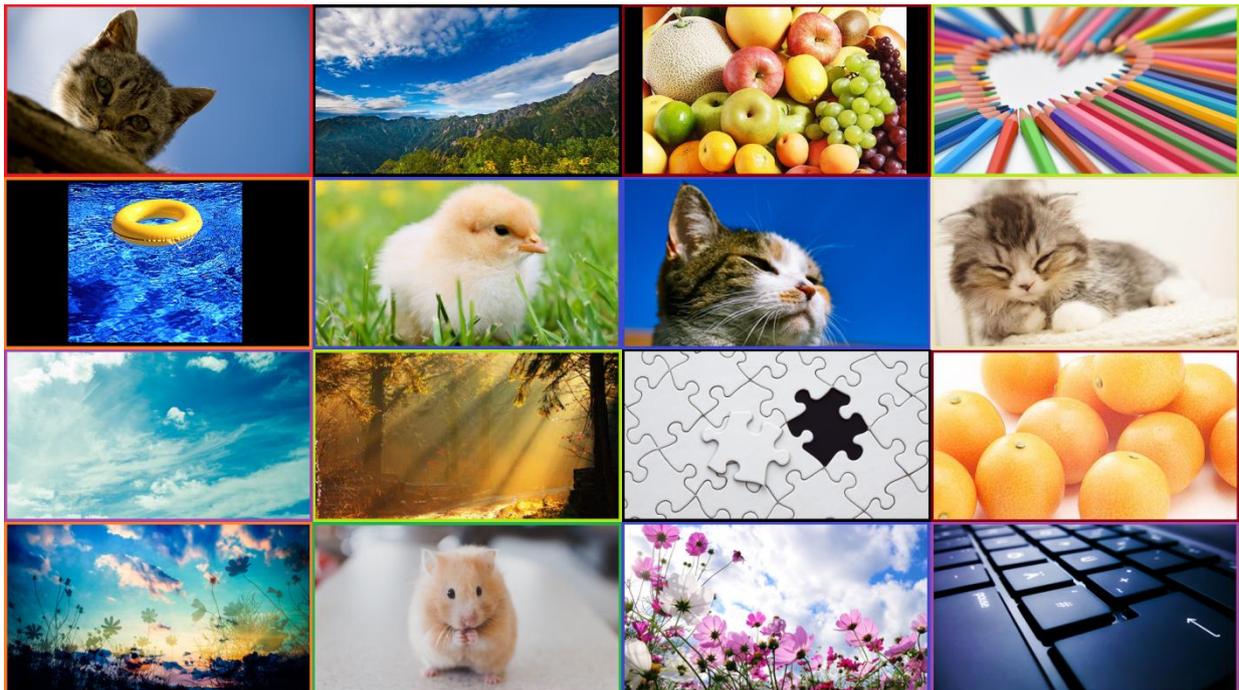
◇VAD-Cが接続されていない状態でもレイアウト編集等が可能です。

VAD-C接続時に、編集内容の一括設定が行えます。

◇VAD-Cの状態を取得する機能を持っています。

◇設定されたレイアウトは3.1.1.2「VAD-C画面」、3.1.2「VAD-C毎のアラーム状態表示」に反映されます。

< 表示例 >



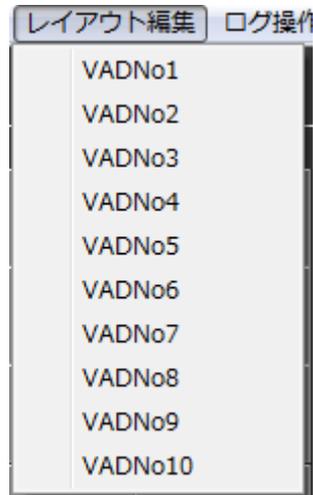
16面(4×4)表示

3.6.1 レイアウト編集

◇VAD-C 毎にレイアウトを設定します。

◇VAD-C 接続中は、レイアウト編集画面にて設定・更新した内容は VAD-C に即反映されます。

◇VAD-C 画面のメニュー→「レイアウト編集」より、設定する VADNo を選択する事でレイアウト編集画面が表示されます。

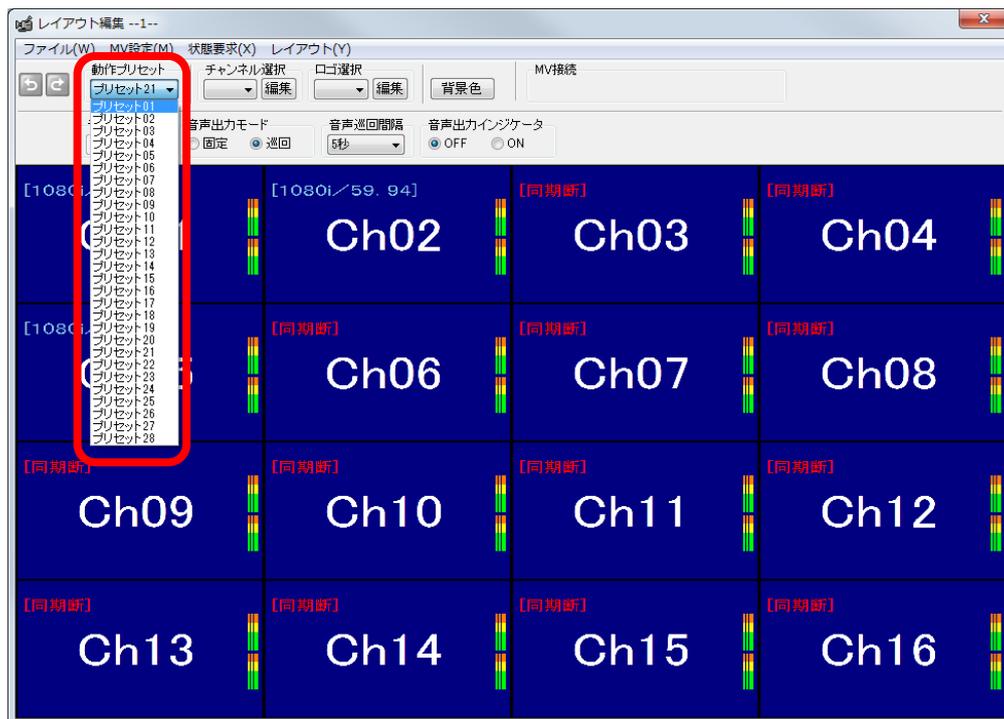


3.6.1.1 動作プリセットの選択

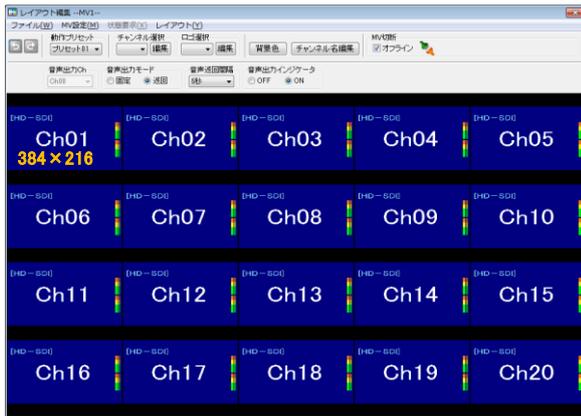
◇動作プリセットは、固定レイアウト8個、ユーザープリセット20個の計28個から選択します。

◇プリセット1～8が固定レイアウト、プリセット9～28がユーザープリセットです。

(1) レイアウト編集画面の「動作プリセット」のプルダウンから、任意のプリセットを選択できます。



※ 以下画面は、各プリセットの初期レイアウトです。



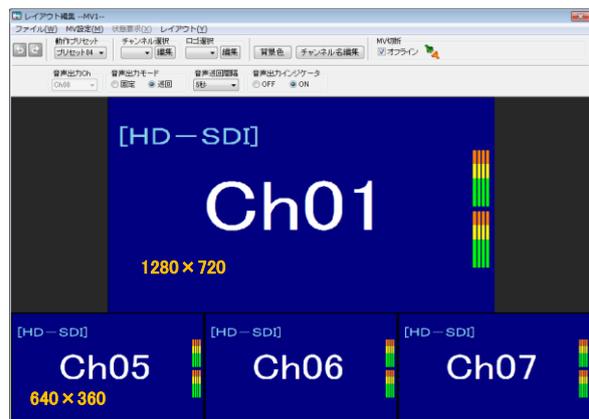
<プリセット1>



<プリセット2>



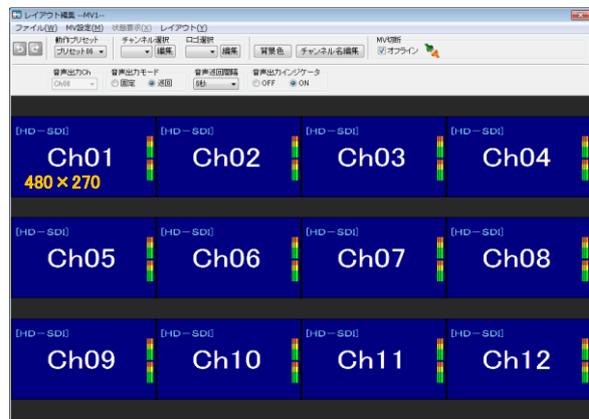
<プリセット3>



<プリセット4>



<プリセット5>



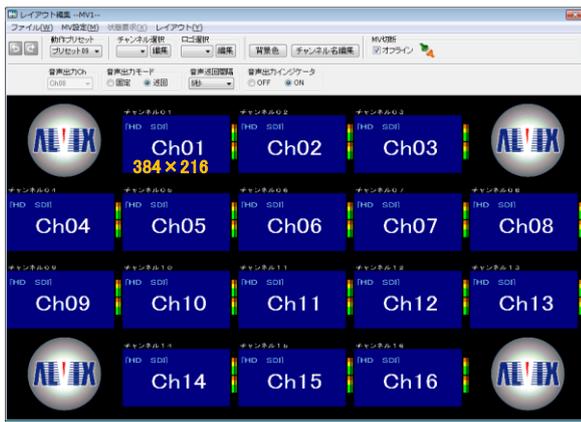
<プリセット6>



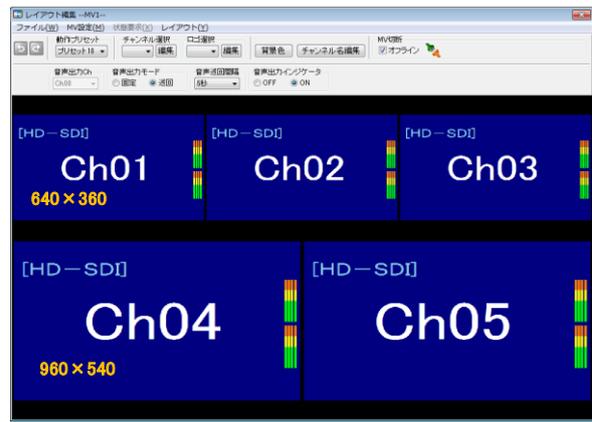
<プリセット7>



<プリセット8>



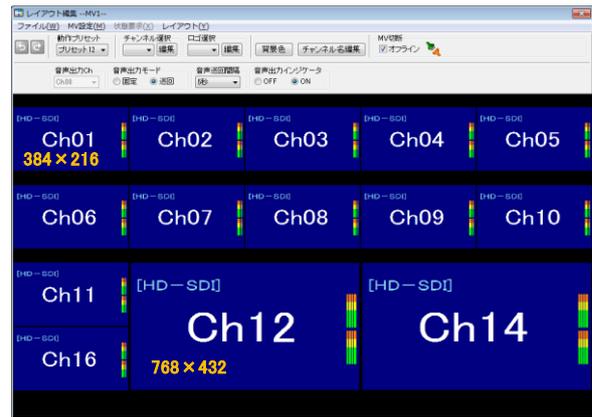
<プリセット9>



<プリセット10>



<プリセット11>



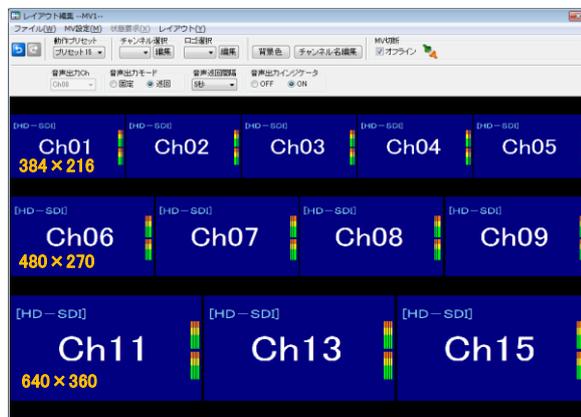
<プリセット12>



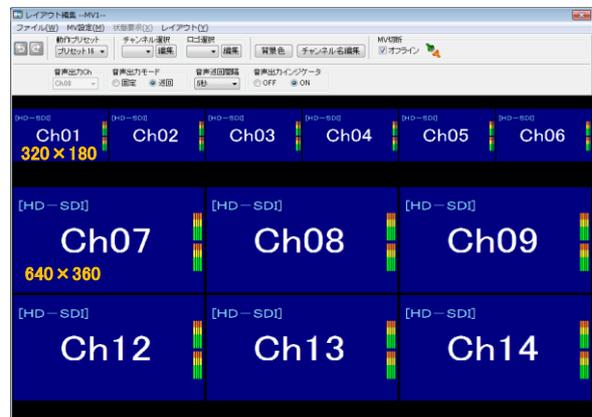
<プリセット13>



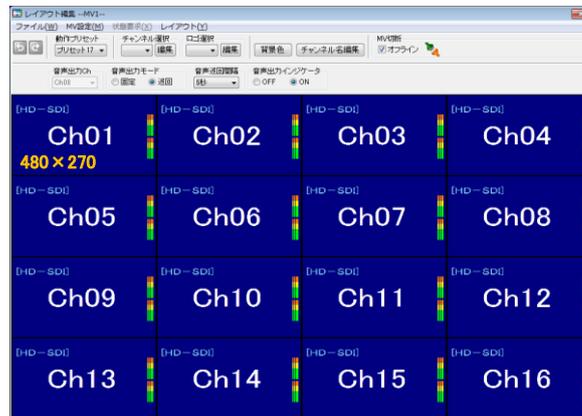
<プリセット14>



<プリセット15>



<プリセット16>



<プリセット17~28>

3.6.1.2 ユーザープリセットの編集

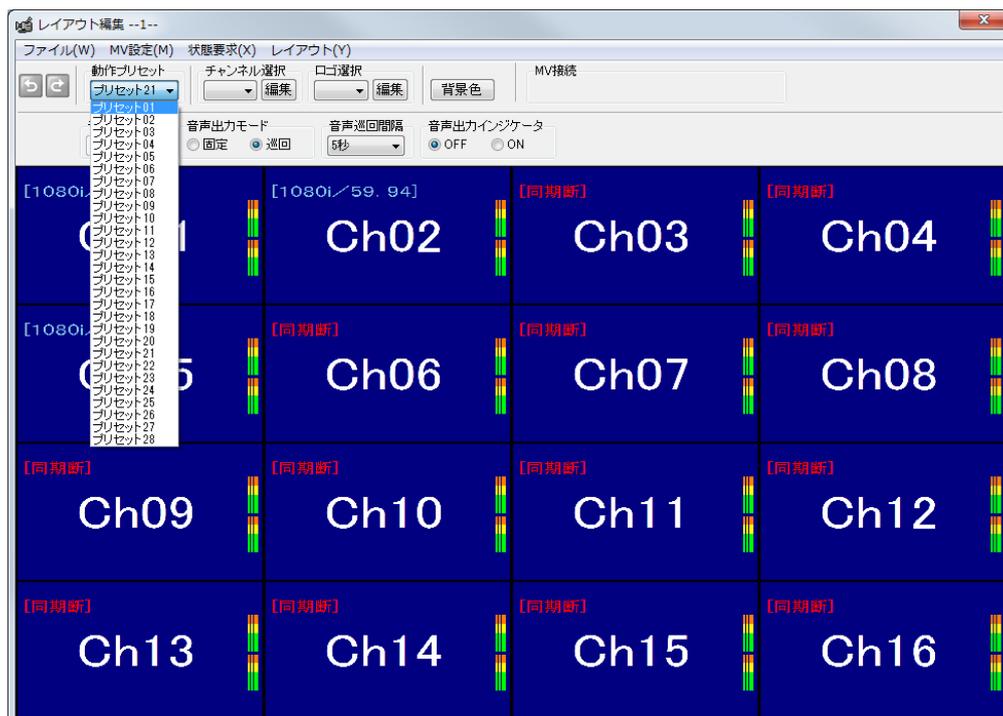
◇VAD-C1台につき、20通りのレイアウトをユーザープリセットとして登録することが可能です。

◇ユーザープリセットでは、分割画面の、マウス操作による配置移動・サイズ変更、座標指定による配置変更等を行うことができます。

- ※ Ch1~Ch4或いは、Ch5~Ch8・・・の4面の面積の合計が、 1920×1080 を超える事は出来ません。
- ※ 基本的な画面重ねには対応しますが、4面間の各サイズや重ね量、位置によっては画像が乱れる事が有ります。

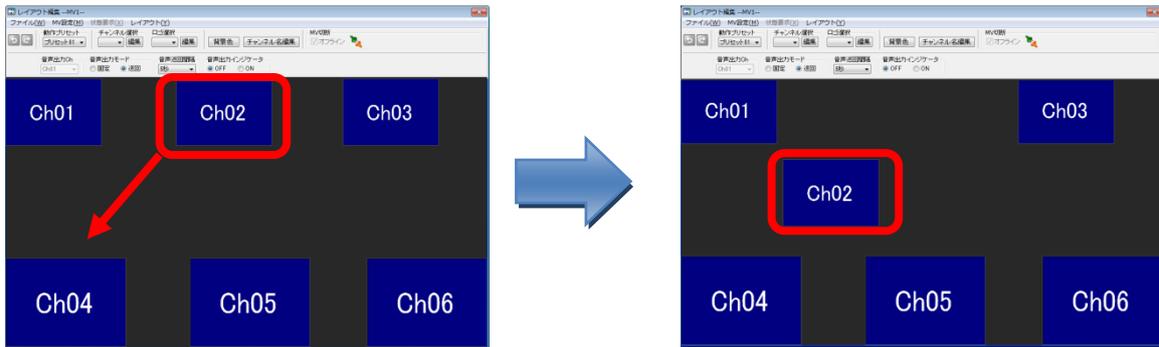
(1) 編集するプリセットの選択

レイアウト編集画面の「動作プリセット」のプルダウンから、プリセット9~28のいずれかを選択します。



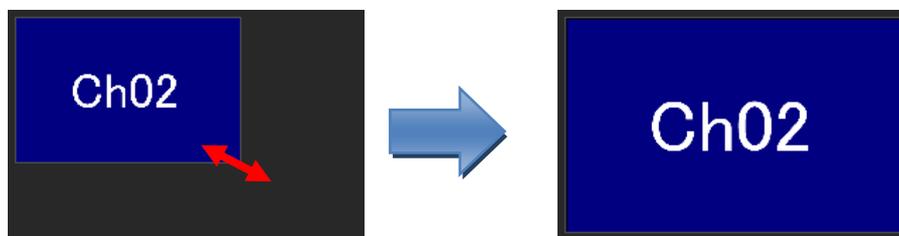
(2) マウス操作による配置移動

分割画面をマウスでドラッグ&ドロップすることにより、配置の移動が可能です。



(3) マウス操作による画面サイズ変更

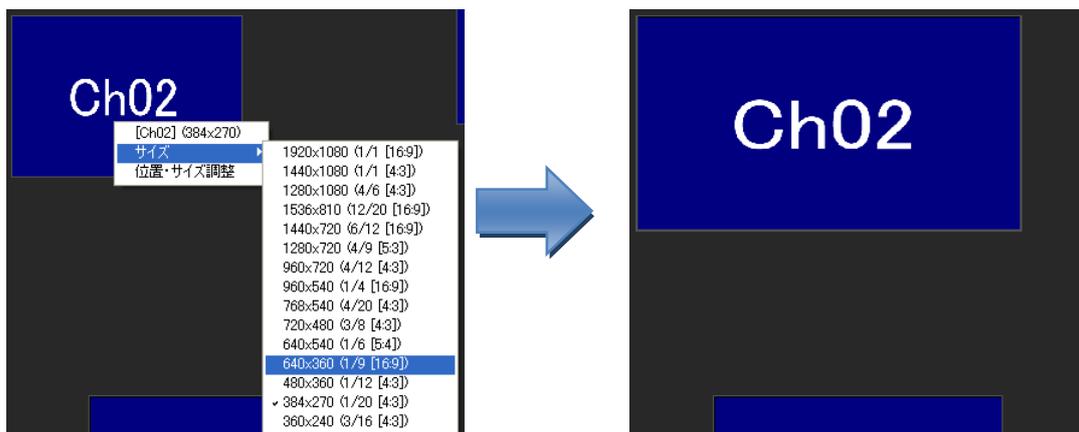
分割画面の四隅のいずれかをマウスでドラッグ&ドロップすることにより、画面サイズの変更が可能です。



(4) サイズ選択による画面サイズ変更

選択肢からサイズを選び、サイズ変更を行うことができます。

- 移動及びサイズ変更を行う分割画面を右クリックします。
- ポップアップメニューが表示されますので「サイズ」の画面サイズ選択リストから、変更後のサイズを選択します。

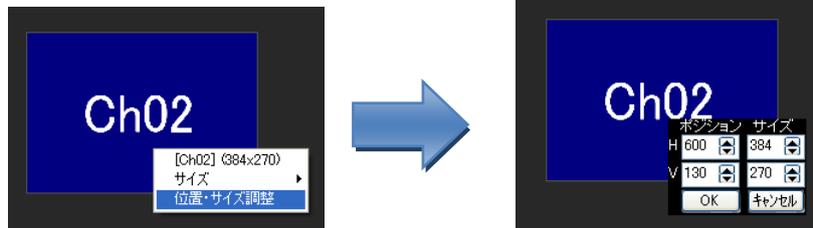


(5) 数値指定による位置・画面サイズ変更

数値の直接入力により、位置及びサイズ変更を行うことができます。

- ・移動及びサイズ変更を行う分割画面を右クリックします。
- ・ポップアップメニューが表示されますので「位置・サイズ調整」を選択します。
- ・「ポジション」に分割画面の座標を、「サイズ」に画面サイズを指定して、

 をクリックします。



(6) 画面重ね時の背面画面の操作

複数の画面が重なった状態でも、背面の画面を選択し編集することができます。

※チャンネル選択した画面（白二点鎖線）は、マウス操作による画面サイズ変更はできません。

- ・チャンネル選択から、移動もしくは編集したいチャンネルを選びます。



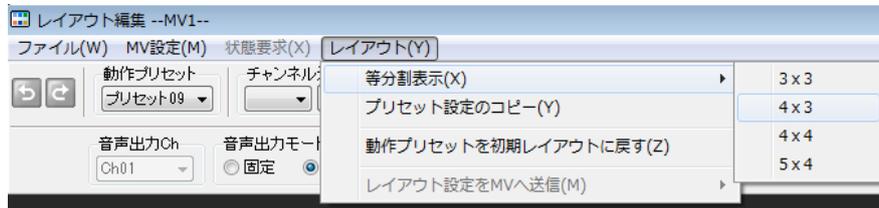
- ・選択したチャンネルの画面が白二点鎖線で示され、マウスによる操作が可能になります。
(配置移動、右クリックでの位置サイズ編集、左クリックで詳細設定画面表示)



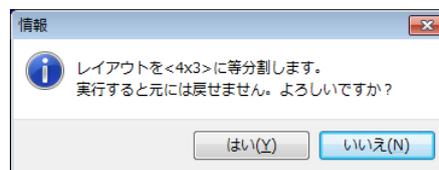
(7) 等分割表示

分割画面を同一画面サイズで整列できます。

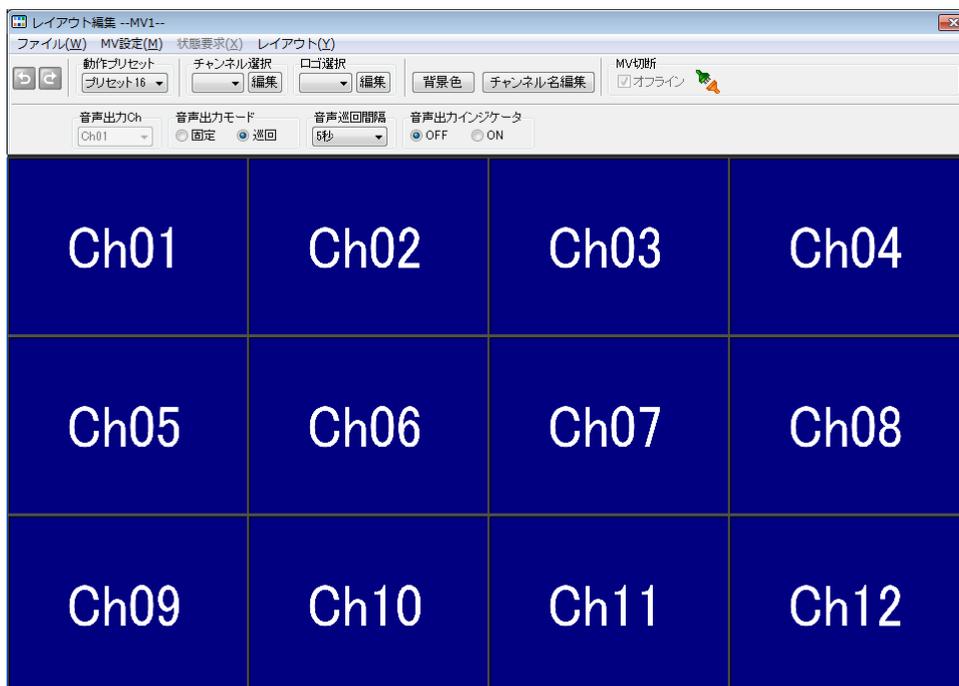
- レイアウト編集画面のメニューから「レイアウト」→「等分割表示」→分割画面数を選択します。



- メッセージが表示されますので、 をクリックします。



- 等分割画面が表示されます。



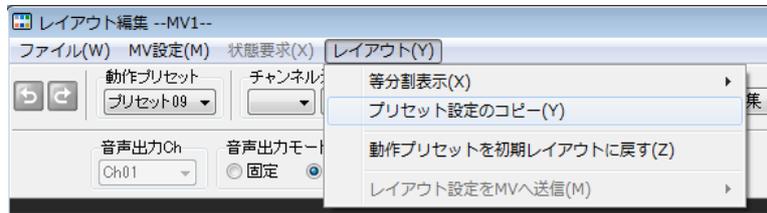
※ 本処理は、画面サイズと位置以外のチャンネル設定（表示、枠等）は変更しません。

※ 本処理実行後は、「元に戻す」「やり直し」操作がリセットされます。

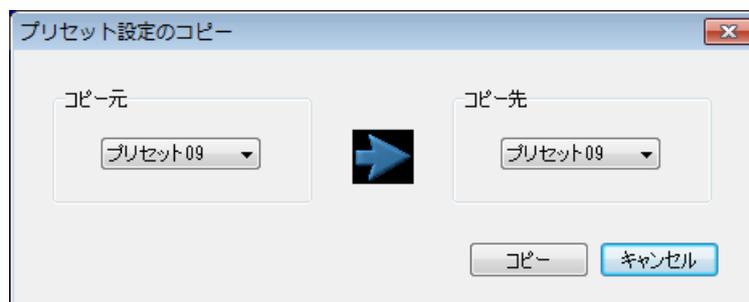
(8)プリセット設定のコピー

プリセット間でのレイアウトのコピーが可能です。

- レイアウト編集画面のメニューから「レイアウト」→「プリセット設定のコピー」を選択します。



- プリセット設定のコピー画面が表示されます。

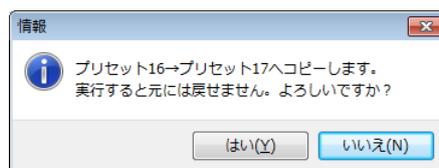


- コピー元のプリセットとコピー先のプリセットをそれぞれ選択し、

コピー をクリックします。

※ コピー先プリセットには、固定プリセット1～8は指定できません。

- メッセージが表示されますので、**はい(Y)** をクリックします。



※ 本処理実行後は、「元に戻す」「やり直し」操作がリセットされます。

- キャンセル** をクリックすると、本画面を閉じます。

3.6.1.3 背景色の設定

◇分割表示画面の背景色を任意の色に設定することができます。

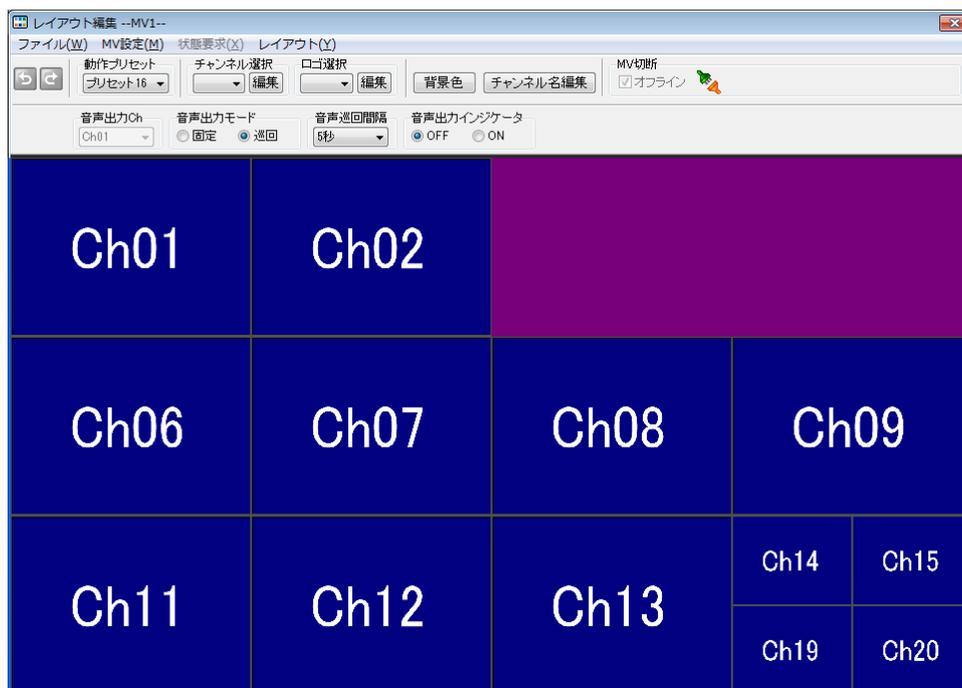
- (1) レイアウト編集画面から **背景色** をクリックします。



- (2) 背景色設定画面が表示されます。



- (3) 背景色設定画面にて、RGB リストまたはパレットより、背景色を選択し、**OK** をクリックします。



- (4) **キャンセル** をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

3.6.1.4 ログ表示設定

◇分割表示画面の背景に静止画1種を最大4箇所表示することができます。

※複数種類のロゴを表示することはできません。

◇ファイルの種類は、JPG もしくは BMP です。

◇最大サイズはタテ、ヨコ 1020dot、面積 81920dot 以内です。

◇最大サイズを超える場合、また長さが 4dot 単位でない場合は縮小します。

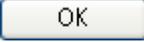
◇最小サイズは 16×16dot です。それより小さい場合は余白を黒塗りします。

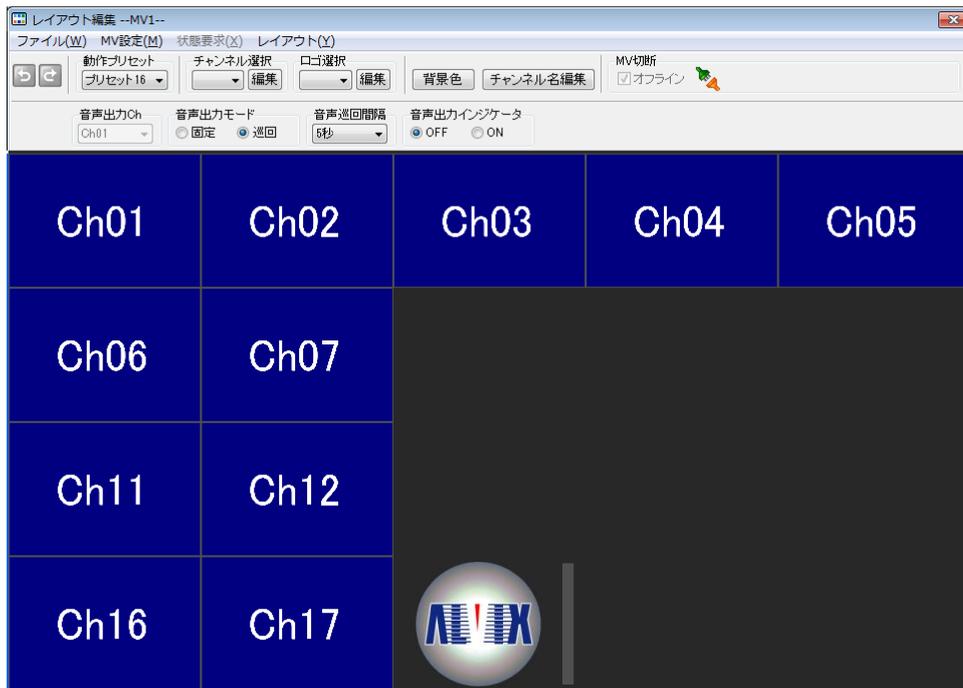
(1) レイアウト編集画面の「ロゴ選択」から **編集** をクリックします。



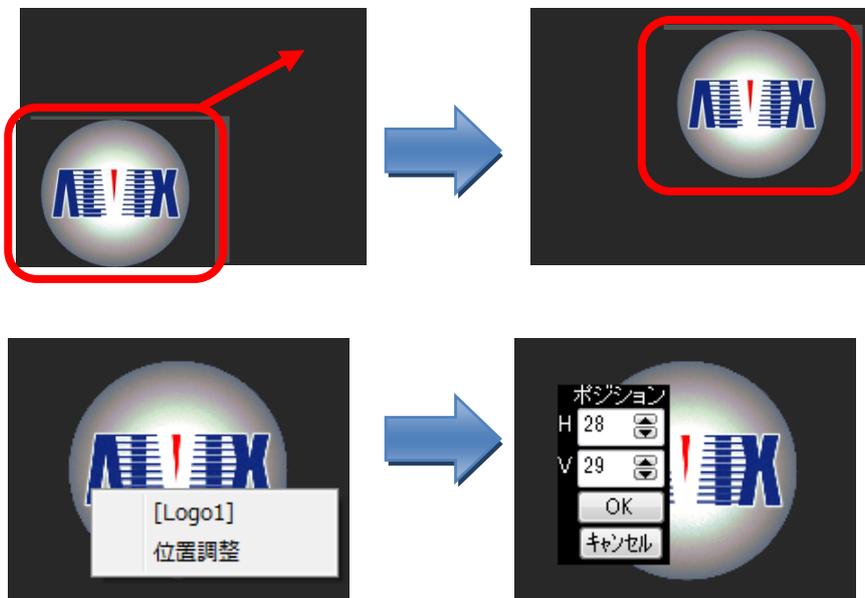
(2) ログ設定画面から、ログ1～4の4箇所の表示／非表示及び表示位置を設定します。



(3)  をクリックすると、設定した場所にロゴが表示されます。



(4) マウスでドラッグ&ドロップすることにより、配置の移動が可能です。
また、右クリックで、数値指定による配置の移動も可能です。



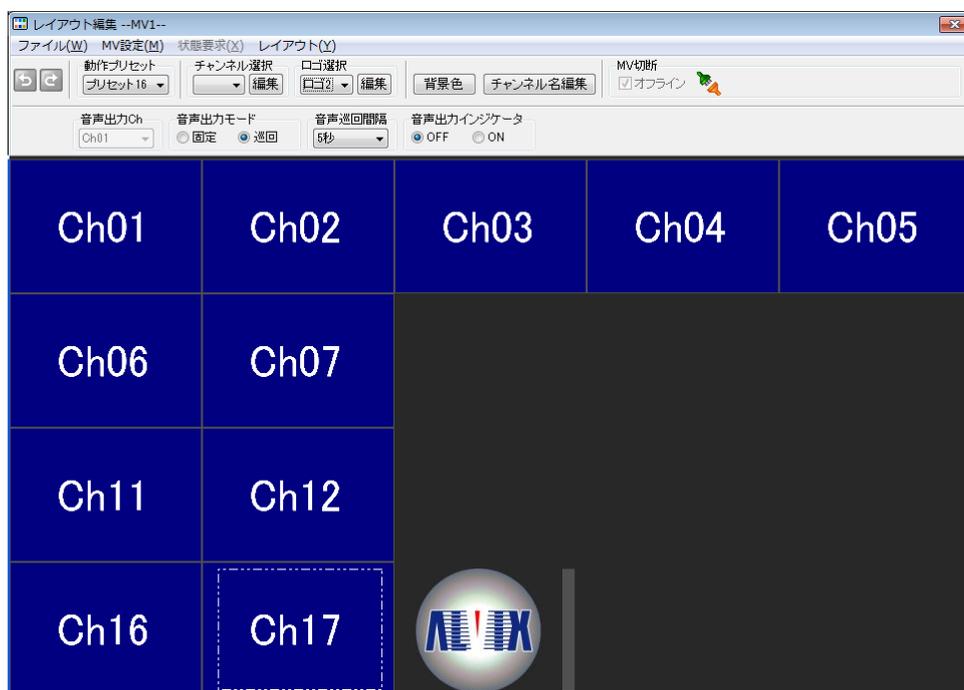
3.6.1.5 分割画面背面にあるロゴの操作

◇ロゴが分割画面の背面にある状態でも、ロゴを選択し編集することができます。

- (1) レイアウト編集画面の「ロゴ選択」で編集したいロゴを選びます。



- (2) 選択したロゴの位置が白二点鎖線で示され、マウスによる操作が可能になります。
(配置移動、右クリックでの位置編集、左クリックでロゴ設定画面表示)



3.6.1.6 ログデータの変更

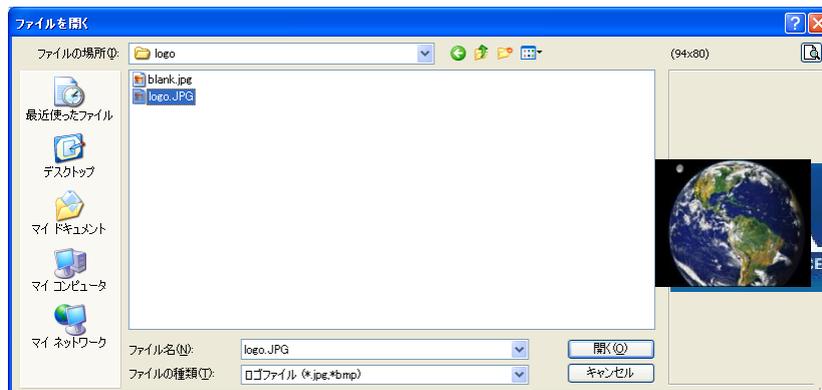
◇ロゴデータを変更できます。

◇変更したロゴデータを装置に反映するには、ロゴデータの送信が必要です。

- (1) ログ設定画面から **読み込** をクリックします。

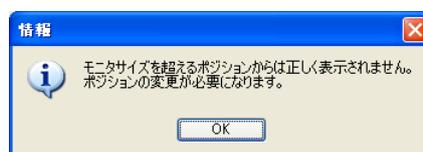


- (2) ログファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。



※ 読み込んだロゴデータがモニタサイズを超える位置に表示設定されている場合は、以下のメッセージが表示されます。

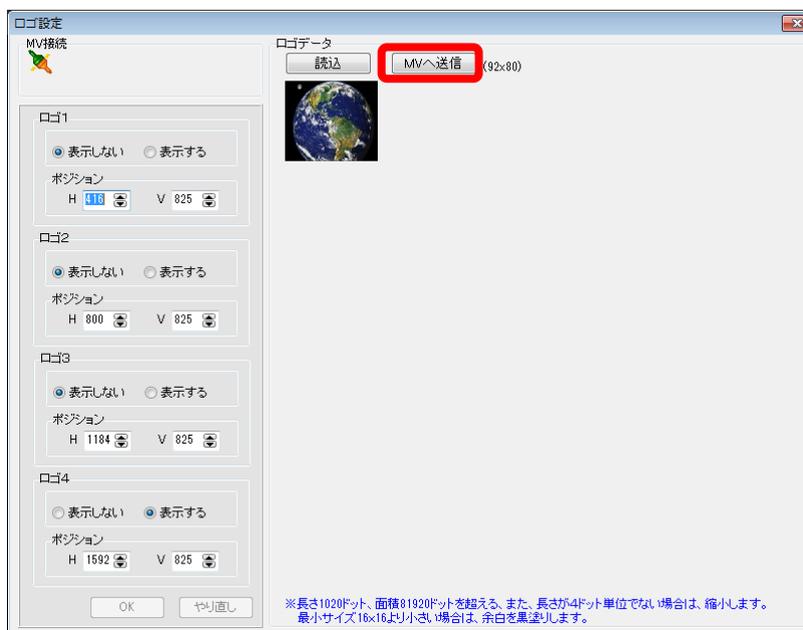
マルチビューワへ送信する前に表示位置を修正してください。



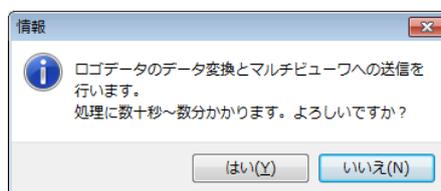
3.6.1.7 ログデータの送信

◇読み込んだロゴデータを、マルチビューア本体に送信し、設定を反映します。

- (1) ログ設定画面にて、読み込んだロゴデータを確認し、**MVへ送信** をクリックします。



- (2) メッセージが表示されます。

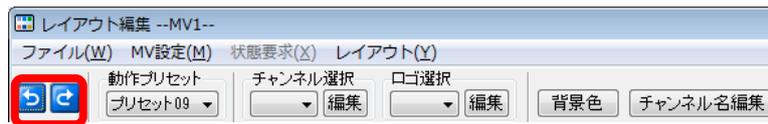


- (3) **はい(Y)** をクリックすると、データの転送が開始されます。

3.6.1.8 元に戻す・やり直し

◇設定した分割画面の配置やサイズの設定を元に戻したり、やり直したりすることができます。

- ※ 動作プリセットの切り替え、設定取得、レイアウト設定等を行うと、本処理はリセットされます。
- ※ 背景色、チャンネル名編集、等分割表示、プリセット設定のコピー、初期化は本処理に対応していません。



- ①  ボタンをクリックすると、1つ前の設定に戻ります。
- ②  ボタンをクリックすると、1つ次の設定になります。

3.6.2 初期化

◇設定を変更したレイアウトを初期化することができます。

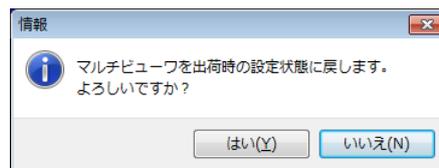
3.6.2.1 出荷時設定に戻す

◇全ての設定（全プリセットのレイアウト、チャンネル名、ロゴ、アラーム設定）を出荷時の設定に戻します。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「MV 設定」→「出荷時設定に戻す」を選択します。



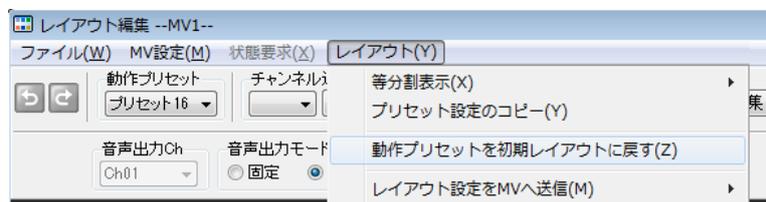
- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



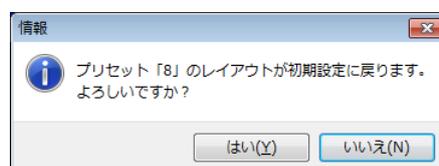
3.6.2.2 動作プリセットのレイアウトを初期化

◇動作プリセットのレイアウト設定を出荷時の設定に戻します。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「レイアウト」→「動作プリセットを初期レイアウトに戻す」を選択します。



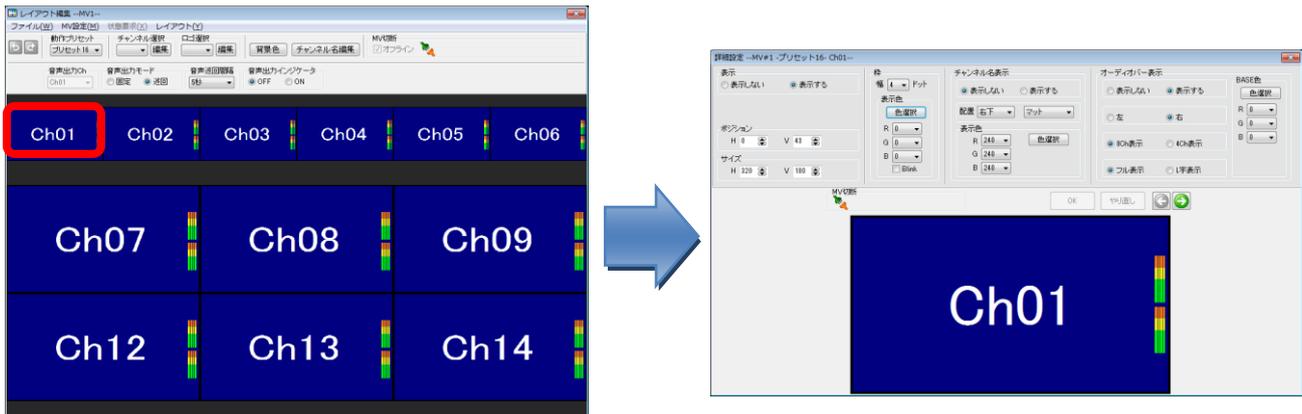
- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



3.6.3 チャンネル別画面詳細設定

- ◇チャンネル別にチャンネル画面表示の詳細設定を行います。
- ◇VAD-C 接続中は、詳細設定画面にて設定・更新した内容は VAD-C に即反映されます。
- ◇「3.6.3.3 チャンネル枠設定」のみ変更した場合は、マルチビューワに設定が保存されません。

- ① レイアウト編集画面から、詳細設定を行うチャンネルをダブルクリックすると、詳細設定画面が開きます。



- ② チャンネル選択で詳細設定を行うチャンネルを選択し、

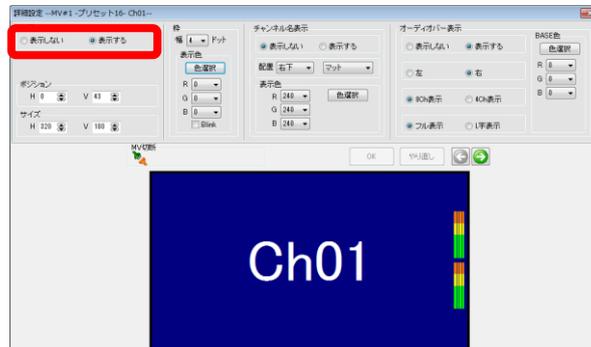
編集 ボタンをクリックすることでも、詳細設定画面が開きます。



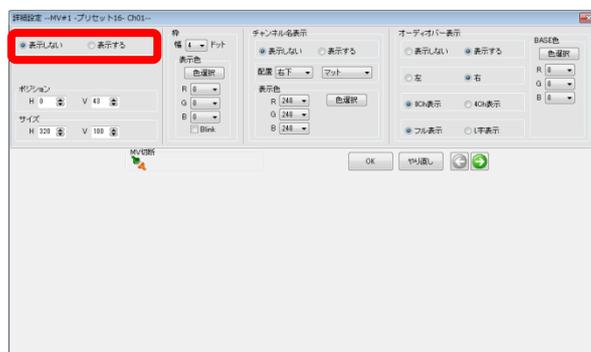
3.6.3.1 画面表示のON/OFF

◇任意のチャンネルの表示／非表示を切り替えることができます。

(1) 詳細設定画面の表示設定で、「表示する」もしくは「表示しない」を選択します。



<表示する>

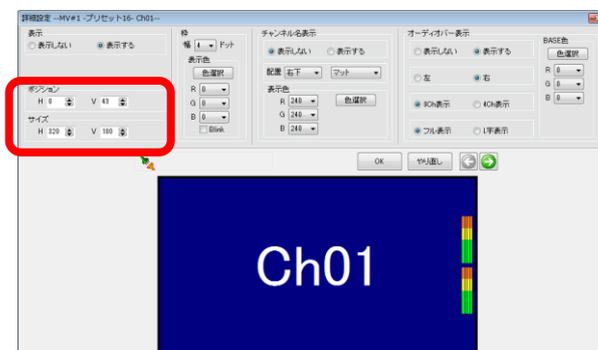


<表示しない>

3.6.3.2 画面ポジション／サイズ設定

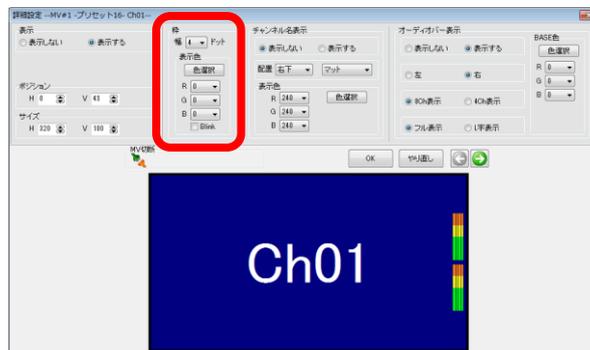
◇画面のポジション及びサイズを数値で指定できます。

詳細設定画面で、ポジション及びサイズを数値で指定します。



3.6.3.3 チャンネル枠設定

- ◇チャンネルごとに画面枠の色や幅の指定、点滅設定などが行えます。
- ◇枠幅は [0、4、8、16、24、32] ドットの中から指定可能です。
- ◇枠色は64色の中から指定可能です。



- (1) 枠幅はプルダウンリストから選択します。



- (2) 枠色は、RGB 各出力をプルダウンリストから選択するか、

色選択

をクリックし、パレットから色を選択します。



<RGB 出力>



<パレット>

- (3) 枠を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを入れます。

3.6.3.4 枠情報の保存

◇本体の電源を ON/OFF しても設定した枠情報がリセットされないように設定することができます。

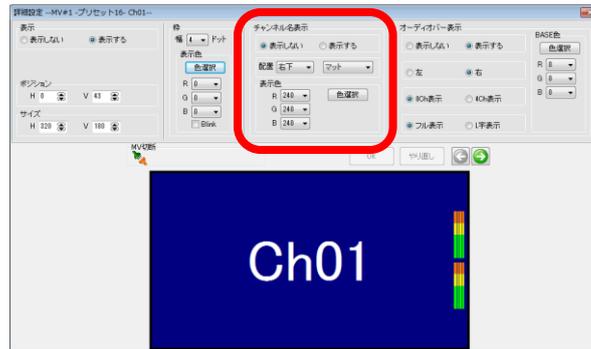
※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。

(1) レイアウト編集画面のツールバーから、「MV 設定」→「枠情報を MV に保存」を選択します。



3.6.3.5 チャンネル名表示設定

◇チャンネル名の表示／非表示及び表示位置や、文字色、表示効果などの設定ができます。



(1) 詳細設定画面のチャンネル名表示設定で、「表示する」もしくは「表示しない」を選択します。

(2) 表示位置をプルダウンリストから選択します。



(3) 文字の効果を選択します。

マットは、文字の背面の矩形領域を黒で塗りつぶします。

透過は、文字の背面を透過させることができ、その透過率を選択します。



(4) 文字の色は、RGB 各出力をプルダウンリストから選択するか、

色選択

をクリックし、パレットから色を選択します。



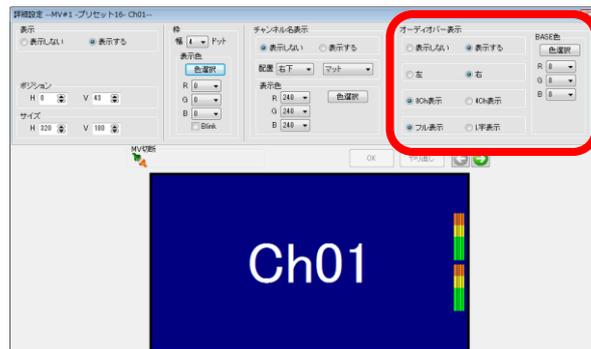
<RGB 選択>



<パレット>

3.6.3.6 オーディオバー表示設定

◇オーディオバーの表示／非表示、及び表示位置や表示方法、BASE 色などの設定ができます。



- (1) 詳細設定画面のオーディオバー表示設定で、「表示する」もしくは「表示しない」を選択します。
- (2) 表示位置を「左」もしくは「右」から選択します。
- (3) チャンネル表示を「8Ch 表示」もしくは「4Ch 表示」から選択します。
- (4) 表示方法を「フル表示」もしくは「L 字表示」から選択します。
- (5) BASE の色は、RGB 各出力をプルダウンリストから選択するか、**色選択** をクリックし、パレットから色を選択します。



<RGB 選択>

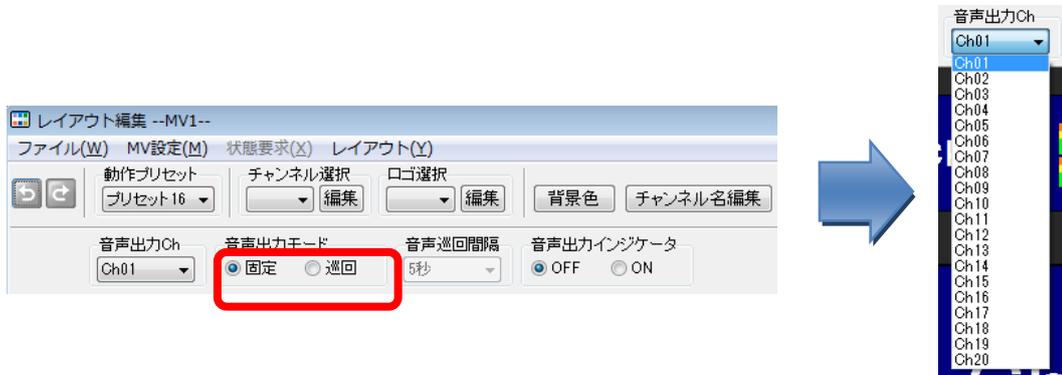


<パレット>

3.6.3.7 音声出力設定

◇音声出力を設定することができます。

- (1) 特定のチャンネルの音声を出力する場合、音声出力モードで「固定」を選択し、音声出力 Ch プルダウンリストからチャンネルを選択します。



- (2) 出力する音声をチャンネルを巡回して出力する場合、音声出力モードで「巡回」を選択し、音声巡回間隔プルダウンリストから秒数を選択します。



- (3) 音声出力インジケータを「ON」にすると、音声出力しているチャンネルの子画面にインジケータを表示します。



3.6.4 設定チャンネル切り替え

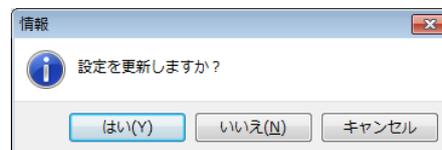
◇詳細設定を行うチャンネルを、順送りもしくは逆送りで切り替えることができます。

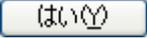
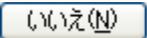
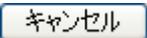
- ①  ボタンをクリックすると、チャンネルを順送りします。
- ②  ボタンをクリックすると、チャンネルを逆送りします。

3.6.5 設定の更新

◇変更した設定を保存し、マルチビューアに反映します。

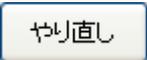
- (1) 詳細設定変更後に、 をクリックすると、設定が更新されます。
- (2) 設定更新せずに、詳細設定画面を閉じようとするか、チャンネルを切り替えようとするか、以下のメッセージが表示されます。



- (3)  をクリックすると、設定を保存後、マルチビューアと接続中であれば、マルチビューアに変更が反映されます。
-  をクリックすると、設定を更新しません。
-  をクリックすると、操作をキャンセルします。

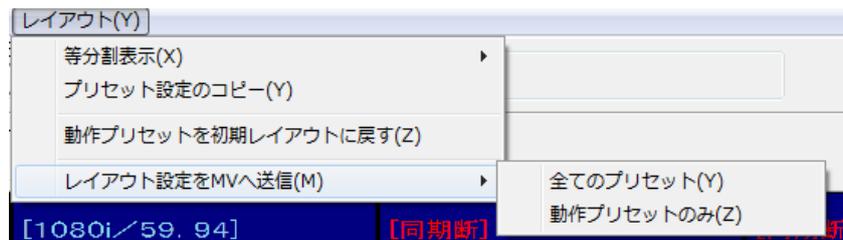
3.6.6 設定のリセット

◇変更した設定をキャンセルして、以前の設定に戻すことができます。

- (1)  をクリックすると、変更した内容をキャンセルし、変更前の状態に戻ります。

3.6.7 マルチビューワへのレイアウト設定の送信

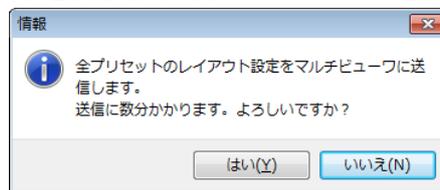
◇レイアウトをマルチビューワへ反映します。



① 全プリセットレイアウトの送信

(1) レイアウト編集画面のツールバーから、「レイアウト」→「レイアウト設定を MV へ送信」→「全てのプリセット」を選択します。

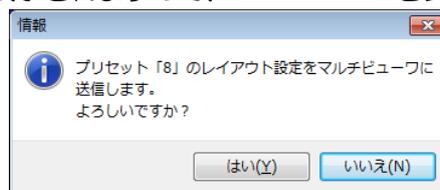
(2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



② 動作プリセットレイアウトのみの送信

(3) レイアウト編集画面のツールバーから、「レイアウト」→「レイアウト設定を MV へ送信」→「動作プリセットのみ」を選択します。

(4) メッセージが表示されますので、 をクリックします。

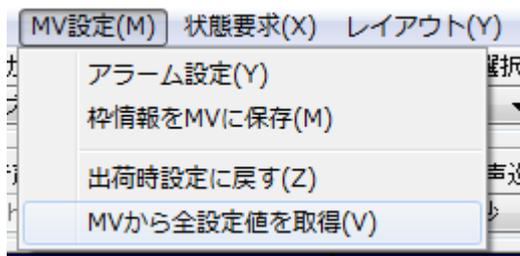


3.6.8 マルチビューワからの設定値の取得

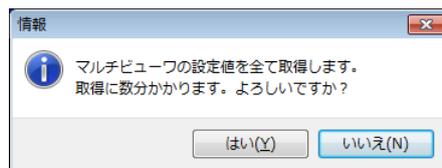
◇現在マルチビューワに設定されている内容を取得し、設定ツールに反映します。

※ ロゴの取得はできません。ロゴ以外の全ての設定を取得します。

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「MV 設定」→「MV から全設定値を取得」を選択します。



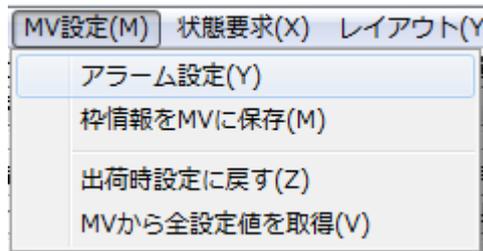
- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



3.6.9 アラーム設定

◇VAD-C のステータスエラー発生時の動作を設定します。

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「MV 設定」→「アラーム設定」を選択します。



- (2) アラーム設定画面が表示されます。



① アラーム発生時のアラーム動作設定

- アラーム発生時のOSD表示のON/OFFを設定できます。
- OSD表示の配置位置を設定できます。

- (3)  をクリックすると、設定が更新されます。

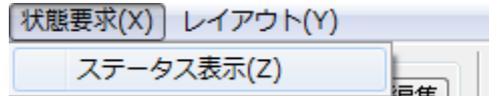
本体と接続中であれば、マルチビューアに設定を送信します。

- (4)  をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

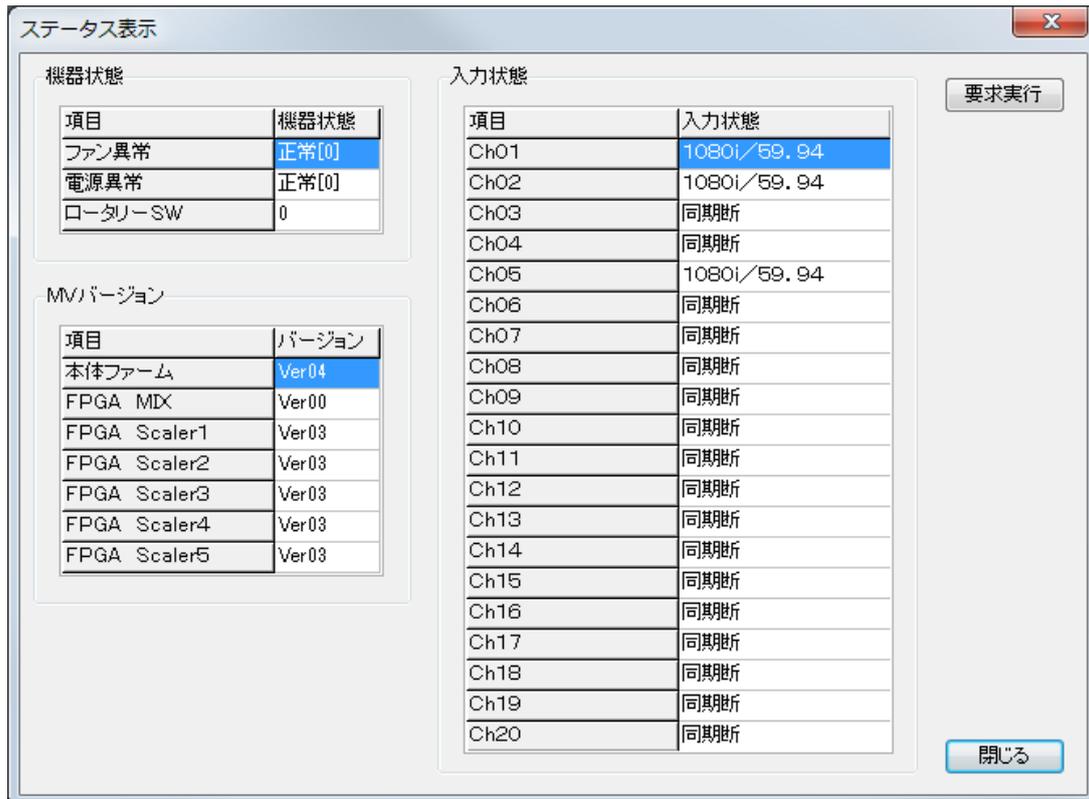
3.6.10 ステータス表示

◇VAD-C 本体の状態を取得することができます。

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「状態要求」→「ステータス表示」を選択します。



- (2) ステータス表示画面が表示されます。



No	項目	表示内容
1	ファン異常	マルチビューア本体のファンの状態
2	電源異常	電源状態
3	ロータリーSW	本体背面ロータリースイッチの設定値
4	本体ファーム	本体ファームのバージョン情報
5	FPGA MIX/Scaler1~5	各FPGAのバージョン情報
6	入力状態 Ch01~20	各入力信号の同期状態

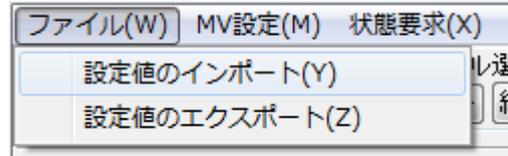
- (3) **要求実行** をクリックします。

- (4) **閉じる** をクリックすると、本画面を閉じます。

3.6.11 設定値のエクスポート

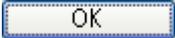
◇現在設定されている内容を、ファイルとして PC 上に保存することができます。

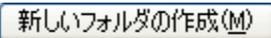
- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「ファイル」→「設定値のエクスポート」を選択します。



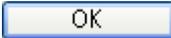
- (2) フォルダ参照のダイアログが表示されます。

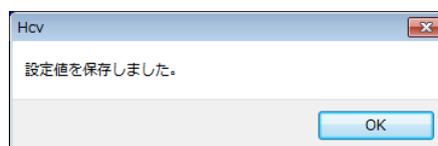


- (3) 保存するフォルダが決まっている場合、そのフォルダを選択し、 をクリックします。

- (4) 新規に保存先を作成する場合、 をクリックします。
選択したフォルダの下に新しいフォルダが作成されます。



- (5)  をクリックすると、指定フォルダに設定値が保存され、メッセージが表示されます。



3.6.12 設定値のインポート

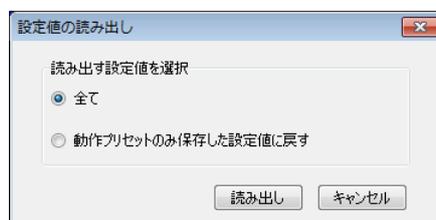
◇「3.6.1.11 設定値のエクスポート」にて保存した設定値を読み出すことができます。

- ※ VAD-C への設定送信は行いません。
- ※ 全ての設定値をインポートした場合、VAD-C に設定を反映させるには、チャンネル名、ロゴ、全てのレイアウト、アラーム設定の送信が必要です。

(1) レイアウト編集画面のツールバーから「ファイル」→「設定値のインポート」を選択します。



(2) 設定値の読み出し画面が開きます。



(3) 読み出す設定値を選択し、**読み出し** をクリックします。

(4) 設定値が保存されているフォルダを選択し、**OK** をクリックします。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038